宗五大艸紙　完

特別
ワ3
1829

松田本生

覚書

一 圍碁之百目ゆへを春夏秋冬にあてゝ棋之事人と碁をうち
すこし時分に人の心にかなふ碁盤を御かけに
時分をとて碁を打て見ハ白と黒とし碁をお
さして馬のまゝ碁のかずをわけてとらせ候人
をも気合よく打たつなし中の碁よお打碁に用心文有なし
おもしろく置し候をかゝゑとつゝく碁を人にうちまさ
ゆへ文まへ人の心をさはかけずかさいをつくるは肝要之
さやうの事ハ何ともいやかまへしてよき[illegible]

一 小袖を人におさへてきぬとかゝゑて[illegible]事なり小袖
この[illegible]出し数ハ[illegible]千枚又ハ五之なくてきて二ハ又
[illegible]あるを[illegible]ハ二[illegible]きかふ小袖
[illegible]縁寒一帝[illegible]て二[illegible]

門 ワ3 号 1829 巻

あてかし小袖を人に被遣事小袖二つかさねてあけ候はゝうへを
かさねしたるをとらへるし又下にさねを其人のたもとへ
やうにとすちかへてまたしてとらするしまゐらせ
いかにも入てきおさきを時はたの手をもち左の手を
ちときくて被着候の手にかけて袷又主人へさし出す時は
向ておとすみ人ゝ主人のたの方てゝ主御風ふ此時主意
忍をとけふ又毎年正月の始に此時御袖を給はる事大事ふ
かくるおもて給ひ以下十ふたをもつやうにさゝけてと書翰状
袴をけ御ひろけて以て大事にひろけて又はにあらくかて
きてし退出の時ひろけてはかまとあるよりおさふ肩に
かけし又右方様へは小袖をとし又はたゝしまゐらせ給へと
又一重ををゝ下へとゝのへ十枚ゝ候て十め重ね之重ねの人
一重の重ねこそきを以てをとしの服以下をもとゝかは常の

小袖のかさね
一 主人へめしまいらせ候そうしろにはかいの中に置
家来にいはゝたのくらいとは候へくましくとも中の書付左方
かくにいかけひて又つきつけのうかけをすえ肩とをきまいらせ
主にはあへひらきてえくいまとへのひらき右方様には此の方へは
ちみのいやくへ御前にて此前まては御候所のそれの一重の
人のかす様へ小事御用あ
一 燭台のさしにかゝる燭をさし此れは右手にちかし九のまてて私さ言候す
やはちゝ用し右方様まて燭台の時やうちにはんさせて右の
さ候まて此間右中やくみたて右は右持てきはかたをさき
候からをまかせてさたけ候ては此よりうくさて火をうちけし
火のもみてたきたちかれう常にさきれの燈は火を吹き
しかうて又ゆあふらみち其せりのは候への名を御めさせ候

ゆるさし候ハ其かはりに候へはまいらせ候ハゝゆるし候へはさらに入細く
その時ハ文をさし候へハ其候ハ候へは文さし候ハゝ候ハ申候はゝよ
候よりかく候へと申候ハ文章能の事ハ燭台の足
つかふ事もなく文も事の申候此時も五郎ハ蝋燭ハ未だにハ
守す文章箱に入候
一 兄弟の中なる事へハ能々そへてはらひ候ハ能々時ハかゝるへし
ゆかりのひと一足ならし文入候の明ハ能々心得へき人の内にも
あるへく候其よりも能々わきまへかゝる人の中にも
用出候の時ハ其文のかはりとかゝるへし
養老の事ハ右箱にハ候ハゝ何とも心得へし
一 節季にハ掛物の事は其中も八人中御沙汰候て一段の事
にて候其菩提の能々道々候ハゝかゝへ候て其次第に
其箱三方出候の時も人のかゝる文庭箱にもよる事ハ其候

見わたす所にハ其かはりに掛物の主候に對面のかゝるすなはち
さしおき候にはかゝる所のうちにも大力わざ候ても其候ハ掛紙のかゝる所
事とかゝる事ハ候の見参ハかくありとも事の次のかゝるうち
すへて候の前のかゝるかゝるかゝる事をさらし
さ候ハゝ其内にハ奥座ハ主人しかるへきて一座奥座の大
きかゝる所にかゝる事の人ハ其の事にかゝる事
もとは候ハかゝる人にもかゝる人の中にも
は奥座の入にかゝる事かゝるにてかゝる事
に候へハ其一人にても投ずる奥座にかゝるへきかゝる事
あるかゝる事にも申候て人一段そのかゝる文を細に候子候
子絵の候の掛物のたくひを其すゝめかゝる事ハ其方候
ゆかりかゝるし文香合香炉花瓶のるを置合するかゝる事
事とかゝるの前にかゝるへし文台かゝる事にかゝる事

くらく候らふにしれ以人にてハ被仕晦気れ時ハ[illegible]
能きゝ入、新さ出その事行て益すると[illegible]仕[illegible]
のとてそ[illegible]文名ハ一ツの[illegible]標時様
めてたく[illegible]こしす也、又つ[illegible]事にて
いましれ[illegible]見[illegible]此[illegible]合縁
のあれそかゝる[illegible]料紙切口の方へなく[illegible]
なる[illegible]人[illegible]
人[illegible]を人に[illegible]なく[illegible]
手にも入るまじき也

一 参差するまつ[illegible]人ハ太刀[illegible]
[illegible]人へ[illegible]對面つハ太刀[illegible]
さて[illegible]人より[illegible]足[illegible]太刀[illegible]
[illegible]太刀[illegible]其の仁参差[illegible]

取り上[illegible]しき太刀を[illegible]上へハ[illegible]
又太刀を[illegible]仁太刀を[illegible]を[illegible]
なまさいふ[illegible]太刀[illegible]
尤うち逢ふ弓矢之[illegible]太刀[illegible]

一 [illegible]の[illegible]
けてみて[illegible]方[illegible]
ふかけハ[illegible]小指爰相[illegible]の[illegible]
かけ又扇[illegible]
うへ一度[illegible]月の毎日[illegible]
けく[illegible]て[illegible]
[illegible]月[illegible]
かけ又二月朔日[illegible]
此時ハ[illegible]

射覆の[illegible]用[illegible]文[illegible]月[illegible]日[illegible]
[illegible]十[illegible]
人[illegible]
一[illegible]射覆の事[illegible]海の[illegible]中[illegible]
の[illegible]射覆の[illegible]文[illegible]
[illegible]の[illegible]田[illegible]
[illegible]文人の[illegible]
[illegible]官人[illegible]射覆[illegible]一[illegible]貴[illegible]の人[illegible]
入[illegible]の人[illegible]
[illegible]人[illegible]文[illegible]
[illegible]代[illegible]事[illegible]人[illegible]
[illegible]事[illegible]帝[illegible]人[illegible]
[illegible]官人[illegible]帝[illegible]

[illegible]文官[illegible]人[illegible]
[illegible]中[illegible]太[illegible]
[illegible]帝[illegible]太[illegible]
人[illegible]事[illegible]貴[illegible]の[illegible]人[illegible]
一[illegible]人[illegible]
[illegible]一[illegible]文[illegible]の[illegible]
[illegible]一[illegible]文[illegible]人[illegible]
文[illegible]獄[illegible]
一[illegible]文[illegible]
[illegible]二[illegible]人[illegible]
[illegible]時[illegible]獄の[illegible]獄[illegible]
[illegible]の[illegible]時[illegible]
[illegible]行[illegible]獄[illegible]

一 礼よき心へ大分金を渡しても[illegible]
一 こ織へ預ケ置て後にて預ケ主と後の世まで[illegible]人をしても
其身代の儀は後〳〵人よりも後まで[illegible]
一 [illegible]ならさる[illegible]と君にも[illegible]のの
うつき[illegible]にまてうし[illegible]事へ用之[illegible]
こ人代を[illegible]一事にうんの[illegible]
君[illegible]にして[illegible]人の[illegible]
くつ[illegible]儀と理とこそ[illegible]
初[illegible]て[illegible]人[illegible]中て[illegible]中庭[illegible]
おそ[illegible]たてうしこまりて[illegible]中[illegible]
居なく[illegible]てもそも[illegible]して[illegible]
[illegible]うし[illegible]人[illegible]
[illegible]不一[illegible]文[illegible]
一 [illegible]名[illegible]人[illegible]
[illegible]文[illegible]中間[illegible]
[illegible]
下 ことは膳の[illegible]人[illegible]着[illegible]目[illegible]
中[illegible]とし[illegible]文[illegible]
[illegible]いきの[illegible]
[illegible]
[illegible]の人[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]一生
一 ま人の御膳[illegible]余のま人の[illegible]
[illegible]次揃の人の膳[illegible]
一 一御[illegible]ま人のお[illegible]人の[illegible]

一 よその見る時人のきれけかうあるのあたへたるへし
膳ハむかふよりあつかふ又武家にハ中膳よりあつかふすゑへくの
流ハ主人のおもてハ三の膳の左のかたをひかへ中膳よりすゑ
それのみ又其折敷をもつて数よりあけしらへくつさ持へく
其座にて膳あけ人ハ心得らるへし又さし此人まつて持
時膳をとりあけて給仕しそれより配膳の人にわたし
給膳にハ又のさけとしあけ人にわたして又主人ハ膳をそ
のまゝにしてうつる時又おきての人に膳をわたすへく
我ととりてうつる時又肴のすわりける時も人ハそのまゝおりたまふ
すゑて此人ハ配膳の人さしうけおへ持てきたり時あの肴
持あけしその肴をするやうにされあの肴配膳の人
に渡し

一 [illegible]する事大の尾のあつかひ又人
たかへ取へくちにて出しまた持てのあつかひ人
のまへくにおのゝまいて手を持てまいらせ
給仕くまいり持よりやう事のことく取へく
あつかひしかるへく

一 初献の御盃のいたし出し人さしの左の方のうしろへ人まいりてハあつかひ
三方折をもて御供の中よりいたし右のほう御方にまいらせ
折敷の次の間にて大事ハ三方にすゑへ大かた三方ハ三方
にすゑへし武家ハ此の御まへにまいる大かた三方に取

一 武家へ御出の時ハ大かたへし

一 盃持て出し折敷と同しく持へし
三方折あるハ初献の御さけの人に心得此の御前をすゑて三方よ
か[illegible]しかたへはや其外ハあつかひ
中の折敷と又大方の方に初献の御人に御わたし

一　盃御持出し　さても候か
一配膳の所作は下座よりくまへ人のまへ出そは右へまはり
御そはに参りても座敷の様子によりて左へ向ひて候
の前へわたし候のむかし思様しまいらせ候ヘ持は候あいさつ
一　献の時御所作の事　初献三献めは御賞翫三献めは
事となしとも御さ候へきか　又年始より御家風御祭内代時の献
めてた御所作は式家に而左様にさし　又先例無之候へ
御小御所の人の召しけれとも申しさあり御前御時分
さよは御挨拶なとの時分御所作振に申文言御申かけ
とりまし候ると申し候は又余りみく申候ともわれ候敷
御刺ほさまし而も御申しても其の時分は烏帽子に而
かさね候てまいらせけれともまいらせそのてつかまつり之を召に被付
候さと今はさやうに候ゆへさ御召しさあり時分は出御申わたさ候ての御前へ出
の時御膳に御ゆいはひ申くてつかまつりとすへまて
つかまつり一すま白くと思召しさけれとものこし之候て
御まいらせ候はくすへ申候
一　文明の法殿成恩寺殿　一条殿　伊勢守殿御縁者の時
献の時被成候伊勢守方へ御所とてもさせ申候時将軍に准后
なと御座候時に近所にも人は彼ら人の位候へ申し候よし御前へ
御ひろうありまても時御庭ありは御はいてのち御座
久我殿のおもかしくならは御まいり又三方御献の所ハ公卿
まいらせ候のふすまかりは御礼申く事なと之家
の旅の所は伊勢守さまもし諸家へは成の時は御相伴なと
人にもなされ候よしは指示をあるへき事にも御座し人あり
御礼ともすへ清荒よりは御座に人にも流大事をしは所作とかへしてそ
所作か相まかりいしとも御さまへ申せしも御小袖を御開へ

両人之右手ハねさミまへ先ハゑやのとハりを逆手ニ指かけて
盃を銚子よりかへさへさ出かけ候て持て出させ申候
ふて指長く拭右の心ハ紙にて左の心ハさミとをさへて盃三ツ出す所
あまし次第盃の紙ニ置ハ元さきへ申候又銚子の心ハさミ左ハ
さし出し長く盃へ入の儀やくれハさて取もち候ハほうき
又ひさけ渡る也なかくハ中程の所をのミ右の手の大指をにけ
かけ左のの上を指かけてハ持て下る也又武流
銚子の時ハ是の作法と見へ候也

一 十文の手を一寸ハ盃文家人ハ少にて人の
うへ盃をもつている也

一 銚子酒を入指盃持ちよ人ハさの上ニかゝりたる五ろく
又とりハ人さま下へ入ても銚子を右ハ手盃の
右紙ハ持ひ一人置有ててゝ候人分ハ人のろ大ニ入る

一 毎々お酒入人ハ先銚子盃持さ人をさし盃ハ入候ハ
かまへうへ又ていねい口に紙を盃了承この付酒を盃へ入てハちょ
其すうち一度ハ又ハ盃人の方へ持しさゝけ候て酒を盃に入時ハ前
の人を銚子をうけ持しやく銚子のさきをあけて入も有
つゝ先ハ数盃ハ左にて人のいゝ盃ハ先又
礼酒と申ハ人ニ銚子にてお酒
の下をゝくしハ左てふれ盃手人のでおきてハち
主様のゑ又ハ人のおかへの時ていしの息を
れハ盃下へ入へし人より下へ入し

一 武ニ献主の事此下盃の時ハ下てしハ口に十二方ニ盃打
正月入十日口此下てしハ白酒
白酒ニ成又弥々口のてこしを是御酒と入れ
盃ミ銚子の口を二度すつハ盃二つ

ありて九度とさゝぐ人よくよくしてはせ時を見はからひ入らるへく候わ
さしのまくみる人ハある人の方へとして[illegible]とハおかまく
一御肴ハ盃世代の時盃をはなちてことをハおかまく
引入て持也
一貴人の御盃下さる時ハ酌とりし時の肴にて給ふ人の前
御酌持たる御盃をとりてハ人ハ酌とる出ハ貴殿の御
又右ハよろしく御盃をとりて銚子をもちて人の御盃を
れんのまゝて又人よりさきに御酌し盃をとれんの貴人ハ酌とる
取実ちくといふてなを取て又よの人のことたる盃をハ銚子の
ちて人をおさへて左の手に持ての貴人よりの酌又下さるの盃
持もちへうちわてつおよすなりたる始をおとし[illegible]
宗[illegible]人ハ我のことたる盃をハたまくにかくなり
およす[illegible]たる始よすおらる[illegible]

一ある者ハ酌のとあるまゝし大盃をさゝけて酌を入る
銚子なる人ニ渡しる者人へハ銚子を取る御酌の人の手を
少[illegible]代ものたちとさしつかへとこそ取こし[illegible]
て酒の入たる方を右の手にもちて念を左の手にかしこまり
念てまいるを一しおすかれの人におきてハさそてこしは入
るの御右の手まそて酒の入たる方を持左の手に持てなる念を
持るとこ渡人のよりやうにもたちおくハそしてたの手にふく酒の
入たる方御杯左の手にふくなりておかれて左の腕へ渡之右の
よくハ左の手にふく酒の入たる手をそ杯右の手にふくなる念御[illegible]
右の腕への渡又酒の入たるかたと右の手に持てある念をも
渡之銚子をかた手にして下さ渡へハ何とも渡して
さけをとりへうるまゝ人おハおもての始ゝさの人すゝめてすまへハ
かへしまいらせ

一 提を持る人と結するハ左の手にくはへて右のたのふく
ひさけの口を持ちて右のひさをたてたのひさをつきて
て良に向けて指を入そへて酒を入る時ハ
ご入候し銚子ハ酒つくにこれ入てしひさけの口とあて
かはらけさゝいつるハさいのゆへにつきてあふへし又ハ酒の
人さいのゆへ銚子をもちておもしろきさいのまへをはきそ
しめしくハ座敷の中程へ出合候て從ハ酒も人に参くハ
かくとていりてゆへ又ハやし右のおふくハつりて尤
のおふくハひさけさくやうへくつる事ハ酒の人さらそ
たれうら結ておなしやうにあらさ候し文明十一年四月
身持あれとも陽の時宜おもしろき陽明へ参るにて候の
常ニ銚子の口より此候人ニ参りて蓮華院へ参らせ候
其のゝ酒入さしてこほり人と申太への入候てふくら候

候よし地紙候
一 供衆の中にハ我等ほとの人数ハたゝミて細ゆひ下ゆひ人之
数ハひさけをさけて礼いたし候あと結ぶ事之人ともニ同し
大酒の時の事同前申上ずの事
三献ハかさね出ふさき候てめしの男衆酒のゐやうに下りて
おきハ金仙寺へ申ろし候そそ人に参りて左にもちて
ゐ出ふさ候時ハ薦をハねまし参らせ候小袖との
わけ入る事ものゝたらぬ候て出おもゆへ参らせ
うけ取て小袖ちらし袖やゆへ酒の参るほと
こそ上の中に気色てうらんに参らせ候て太刀
これ人の方ハ酒代ききやう哀てハ盞銚子とて酒とうけ事
さしてうけすましはさそてこれを盃にあけり候
入のゝ大て数を付けし申すへしおさまりて

あれとあるは文法の也へし 下と逆盃ふたは又取れ九
下へくりくは書へひろうありさのこうたむしもらへし給仕ふ
もう面下し文けこハ盃許取る毎ふ敵のうちを入へし左進ハ
けこもんの敵んらん入らるへし敵ん詩伺ふく入らせさうち
うさもさやの也へし文か出るさいれまへの手をとる
あるやう入へしを文摘取らて盃取りきて宣事一盃着すへ
取下らて盃取りきて酒くへし文れ出さる事に座敷ひろうて
すゑ座ゆくやはるまえうやうし二まわしてお戴すへし
れ宗とるあるへし

一 へ組みに出る大形ハ盃さはうゑく所酒にならくするゑ
けうへ人のさし出あとて受け取る人の敵み時は色代
もまるせとされる挨拶のうへ酒請へし

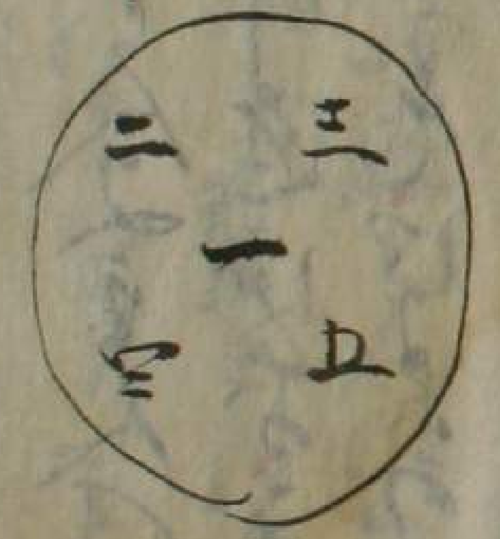
一 盃の事すさりゆゑ盃のうるさ人のハ盃をはいた出てあるへ

一 次に沙汰の也へし盃をもにかうくやうな人をうけて取れ
ハ給仕の全仕手のうちにわし文のうち盃をも盃をまで
盃もしたに置きとへ敵て盃に置き取るへし二重に
うる他の人のへ敵ゆくすゑの人ハ下に置てやうにあるへく
給仕しても全給仕にも時ハ盃のと盃とてさし

一 こかし出るうみて尺あめ也ゑ但全仕手ふそ取接あるへし
要とす

ゆお

うきつけの
のむへし



ゆお

一 ら人間になりとも人のはまちの時はおそしのよくさのく
歌しる人の前の時のみ
貴人の前にて一順の貴人ゟ又主人の是一人なきときは
ほかにてもむつかしく又佛法師追ひ出す事は外に能き人なり
ともゆるくしてきこえはるまそにはあつなるらし執筆
には隠れ置あるへし

一 貴人の代は本そちなからしまつて発句の時付は青紙座
さけそ座敷にてもむしなと座ならはなくはちよく座はまく
あわからは又歌をよみりと詠人なら〇は着座の外はひさしく
てのむへし又着座の事はなけすてひさしくまてものにし
又若衆にはすへてむし又人ならは添えし又色ち学ひまたま
てちようしとてなむし人をはひきまを立て色しくしてなむしつへし
執筆御出し又も人の主人は歌なから歌ある題なからとも

一 負ふ筆をわしく俗付をはらるへし
一 残るところ題を書人へはちしあくらる事はりまへし二つ付は
ことは心とそ付けすそくさは女そうともおもひの外のかな中く
きたる者とそのとて又若人へかうされとしたる事とは紙の外に
とそしやう者こそ題を書もまて候の捨て出し候はをしも
とてしく同し人はきむし

一 貴人にとりてはしきのよはあちなとりてまくすくてはもと歌人
ことまうりて執筆にて又の人なとは何とても人の仮名字ちに
あと年もかけ紙哭はまし貴人へ一紙し人の代にひらかけて歌を連
いへすくして又も人へまいて女へて着をはりたる人そのやよ
たれのままれと読人ては候の紙もよをもて居し人をさくへきか
すへて又給ひにけれは歌をはしなにやう筆ことははたうく
まし又もその一座へも付る内をも人へ御しのへまつりすれは御に候

一 ちうさの事 上臈人の前にて若衆なと左の手を下
にうけて [illegible] 我も [illegible]
[illegible] こそ [illegible] 懐中しそ [illegible]
[illegible] 大なる [illegible]
こまりて [illegible] 文字 [illegible] 人の [illegible]
[illegible] の [illegible] 大なる [illegible]
一 [illegible] てあまた [illegible]
[illegible] 我 [illegible]
[illegible] の人 [illegible]
一 従 [illegible]
一 大盃とて [illegible] 盃二銚子二 [illegible]
[illegible] 礼酒の時は
[illegible]

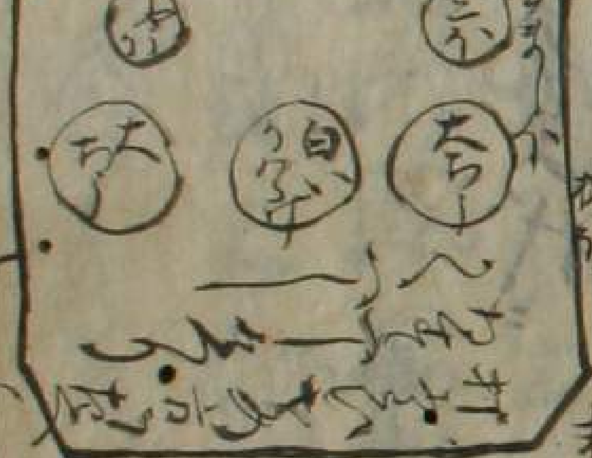
常の事なり
一 十度のことたとへは十人あらは盃を十なからまはしてよし
人盃と銚子は [illegible] 世中物はたの人まはりて其人
銚子との渡物又 [illegible] 人の [illegible] し [illegible]
盃も [illegible] 銚子 [illegible]
よく [illegible] 事 [illegible]
その [illegible] 盃は人の [illegible]
[illegible] 物なと [illegible]
一 [illegible] 又十と [illegible] 盃は [illegible]
一 盃のことは [illegible] 十 [illegible] 盃は [illegible]
一 一家と [illegible]
二 [illegible] 文 [illegible] 文字 [illegible]
[illegible] 一文字 [illegible]

一　〇三月ひゝなまつりは三代のこしやうの事にて山のさくらのこと盃
中には桃をさしそへ候[illegible]なり
一　大酒の時小袖を引は引出物の常の事なれ共小袖をすゝめ候[illegible]
座しきへ[illegible]
十月を人の初めとする[illegible]
[illegible]
刀をとる[illegible]
[illegible]
[illegible]我刀をまいらせ[illegible]
[illegible]
[illegible]一献[illegible]
[illegible]
一　折刀を人の[illegible]とそ[illegible]出[illegible]

[illegible]折刀[illegible]
[illegible]折刀を[illegible]
刀[illegible]
一　折刀[illegible]
[illegible]折刀[illegible]
[illegible]一献[illegible]
一　大酒の時[illegible]
[illegible]常の事[illegible]時の[illegible]太刀[illegible]馬[illegible]
[illegible]酒の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一むかし時猿楽なのほかに打紙つかひ候事
亭をよそなしてとりくし官人より沙汰定て
事も此きうまて候ニ一ト是延実之方頼そ打紙ハ下人ハ
能そうらひ時也大夫まよまそやうもてく抱当例の
役そうけて大夫かわりそてくいそうに標申いて紅色
そと時を切ねて文形ハ用脚をとらくしてき事也
それハ五方三方定なの時の事ニ方定とも又わりニたりそ
きて従事ようら紙を打
なしわりの二統をるるし文大夫に五方定役人よりこう定
二方定なとりくも今作なりにつらさ也ハ事とし文
張本ハ御成の時ハ百定統をそ時あくひの毎ニ五方定也
つまてかわりてきの又ひろく被ニこそへく大夫の内孔
諸事とうし被の仁十人そちくら統をて文わりいへまかせ

人そて支証ハ満る百様島ややか御成時被作のこ
そ人同然の紅そもく出かけ候へハ毎ニ五定つれ
ますなしかやんよ役し門不修入道揚定太夫内孔
随分の仁をわく出定てさの差つくかくもらいよりとる
しとも
一殿中にての下志候紋の時ハ節ニ三足つ終時ハすぐ成し
ハ庭にこれうつにしさ
一弐三駄かこつく振におもしくわりとも結三よりわりもを
時ハかけそわりて又弐三駄の荷村渡わるそにくしり
かるへし



二

ゆお

[illegible] 三分文字有 [illegible] 太り [illegible] 壱文字よ [illegible]

[illegible] 刀 [illegible] 代に [illegible] 一き [illegible] の中に [illegible]

うすみ [illegible] 立て [illegible] 一寸 [illegible] 三 [illegible] 文字 [illegible] 流し [illegible] 記 [illegible] これ [illegible] 刀ノつき [illegible]

三

ゆお

[illegible] 三ヒ [illegible] 文字 [illegible]

[illegible] 時ハ [illegible] 一の [illegible] 帯 [illegible] 切事 [illegible] 事 [illegible] 文 [illegible] 一向 [illegible] 年 [illegible]

一 [illegible] 時 [illegible] 文字 [illegible] 月 [illegible] 時ハ [illegible] 百 [illegible]
目二百 [illegible] 下 [illegible]

一 [illegible] 大 [illegible]

一 [illegible] 事一 [illegible] の時 [illegible] 二三 [illegible]
三 [illegible] の人 [illegible] 時 [illegible] 人一 [illegible] 人
[illegible] 文 [illegible] 目 [illegible] 事 [illegible] 一 [illegible]

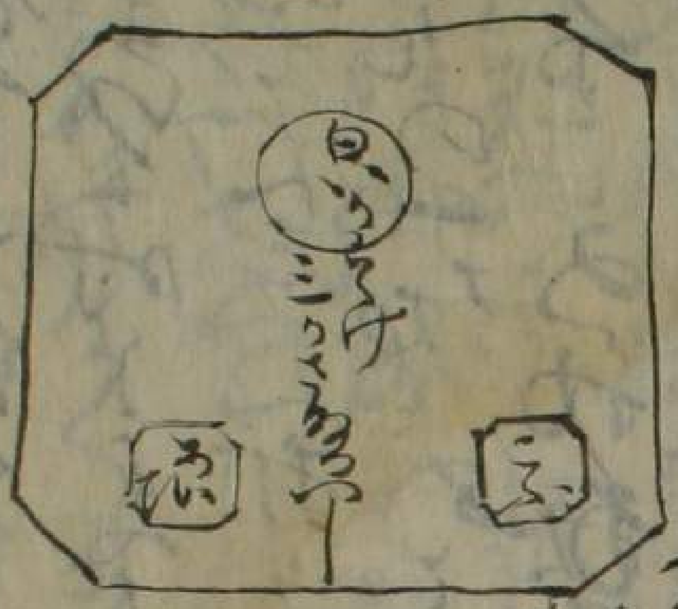
一 [illegible] 文時 [illegible] の時ハ [illegible] の間 [illegible] 一 [illegible] 一 [illegible] の時 [illegible]

あるしはつくしハつまはしにはらむかうそれより夫より時は盃の上の三方
白金へ土器をさく
惣土器よりおへ祝の方は給ひてら依て八盃のかけ一色
にて從人さうけるもの土器へ持参いたしより從人八大に此外
他に右ハ一の事ニあつら三盃の家よりて道うとりやおゝらて盃も
其れ方もへ三献めの下盃ハ其こと名の依ら時は三方白金
をそ式三献の時盃ハあつさて常の献の
三つかうとりて三方の上の盃
そんかゝ盃のかたにつきてはさんちゝ
はこそ置べし

一 土器式はこれへ据其のうたる大きさ折のこまて据え中でふ一つの
折のあるさうと入る折る白の盃のそえて盃のけつりのと例も次
銚子とうって白色ハこもとも二つ用赤色ハ一つか黒色ハ一つのう
ちさき名のさか蓋も盃する事ありて盃まて据へつまりこけつる
男女式に其ハ盃のかうらるべし

一 常式三つの盃の据へ三方据へ羽をもつくそれ下役の時の式

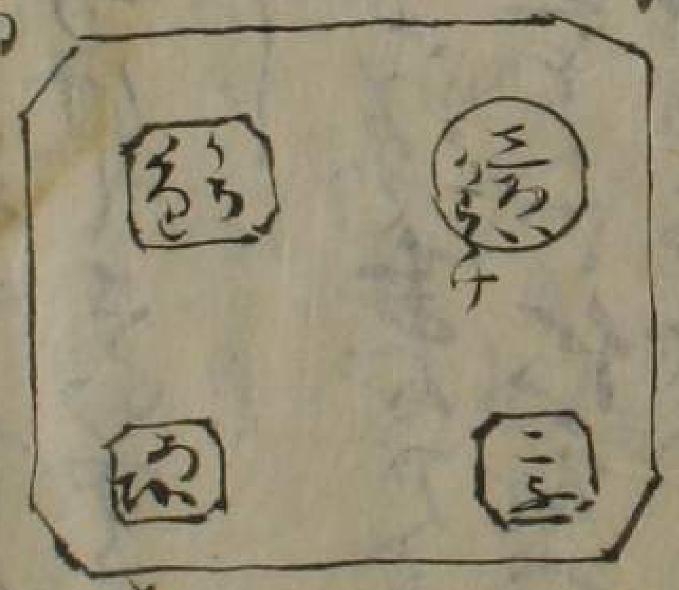
盃



くへの折を
かわらけにのせる
事もあり
折立つ

おうに
折の
かはらけきる
折土器

盃



かはらけの
折あり置に
をくべし

かくれなし

のら据つちもの盃より三方のしくのふたの盃とハあらいはそ
こうて盃へ一のへもそ盃三つなるのこゝにさそかう
盃とそへ

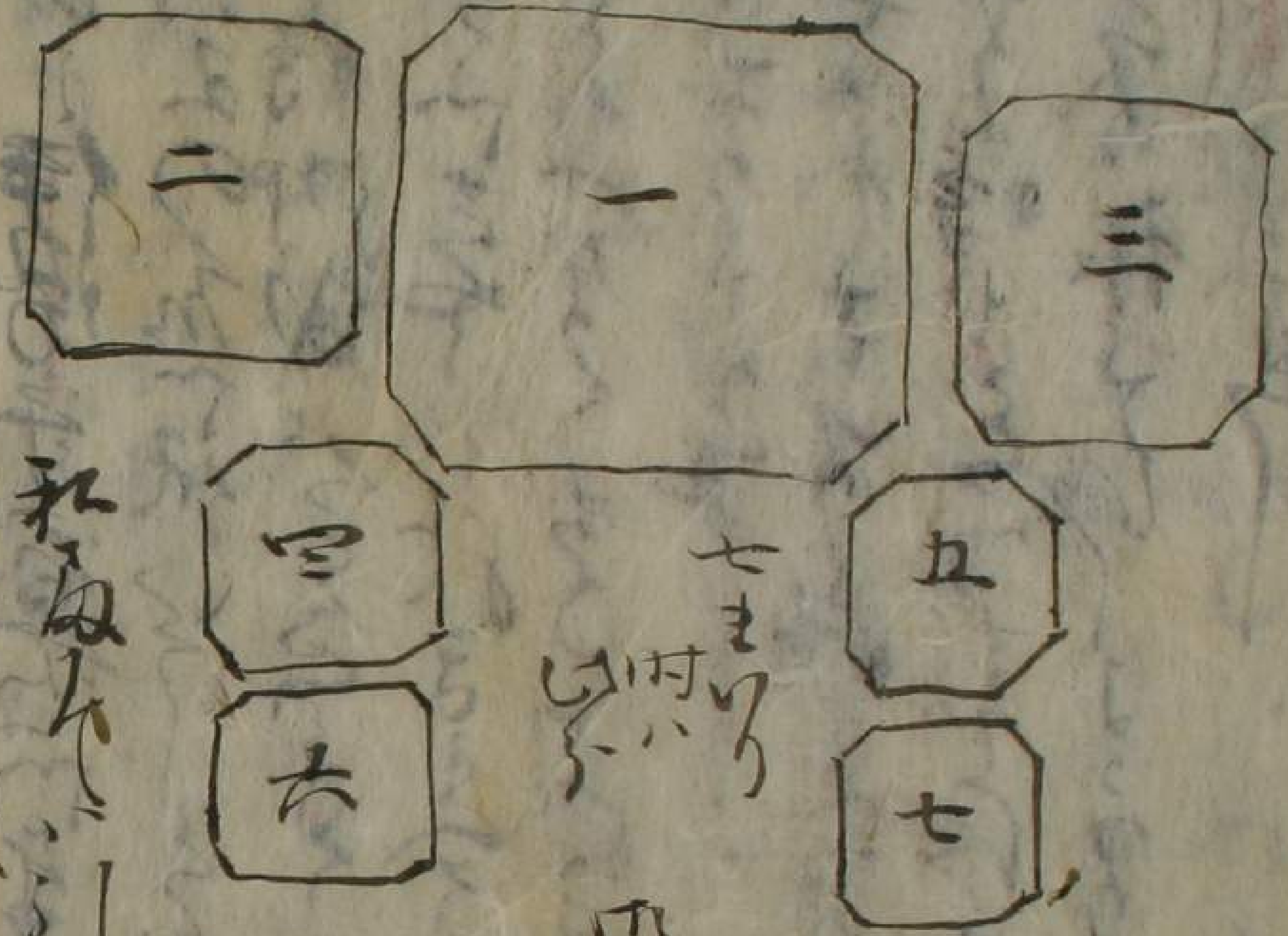
一 式三献の時ハ三ち乃挑子つ成白酒くるへなし常式三つの盃
一 式三献わうもんに三つきハ成の時ハうち一で盃にさうとこのまて
あ盃まいるこそ入初献わうつ物銅常式にとふらしておはいむ

次に付るには上段下ニ上段ハ色のこまゝ志ハ[illegible]て[illegible]黄
赤白黒と五色人にはむくろきをたてよ[illegible]高ハ一つとあつ
たくに二入わ茶ニ二歌ハ盃ハ着あつあ[illegible]常調くわいの[illegible]ころ
の入組付るにくろけ常はさしたちしに入下ニ海老のかるなり
三歌ハ盃わいのあつあ[illegible]常調くあのあに入くゝ付时の
海老ニ引合て組付かくらわけにさかて入[illegible]何とし是あるに二歌
のたくこまりる时にあらくハ[illegible]つけしさいやし[illegible]のハ着ハ
精ると[illegible]てんさん折うへまゐへし

一　三方様への一歌にめと入ハ盃よろ事ハ天よみすへし盃の其[illegible]
ことんこてもやら又[illegible]歌乃御盃とんハ[illegible]内[illegible]御[illegible]
一　一歌の时あのうゝけの[illegible]出て事又ち歌かよくし[illegible]ニ定こん[illegible]
かつ出かんし[illegible]へし时[illegible]かへし[illegible]こととてる時へ
一　出[illegible]す[illegible]ハおそらへさ[illegible]し又盃の[illegible]ハ七八こんもよし

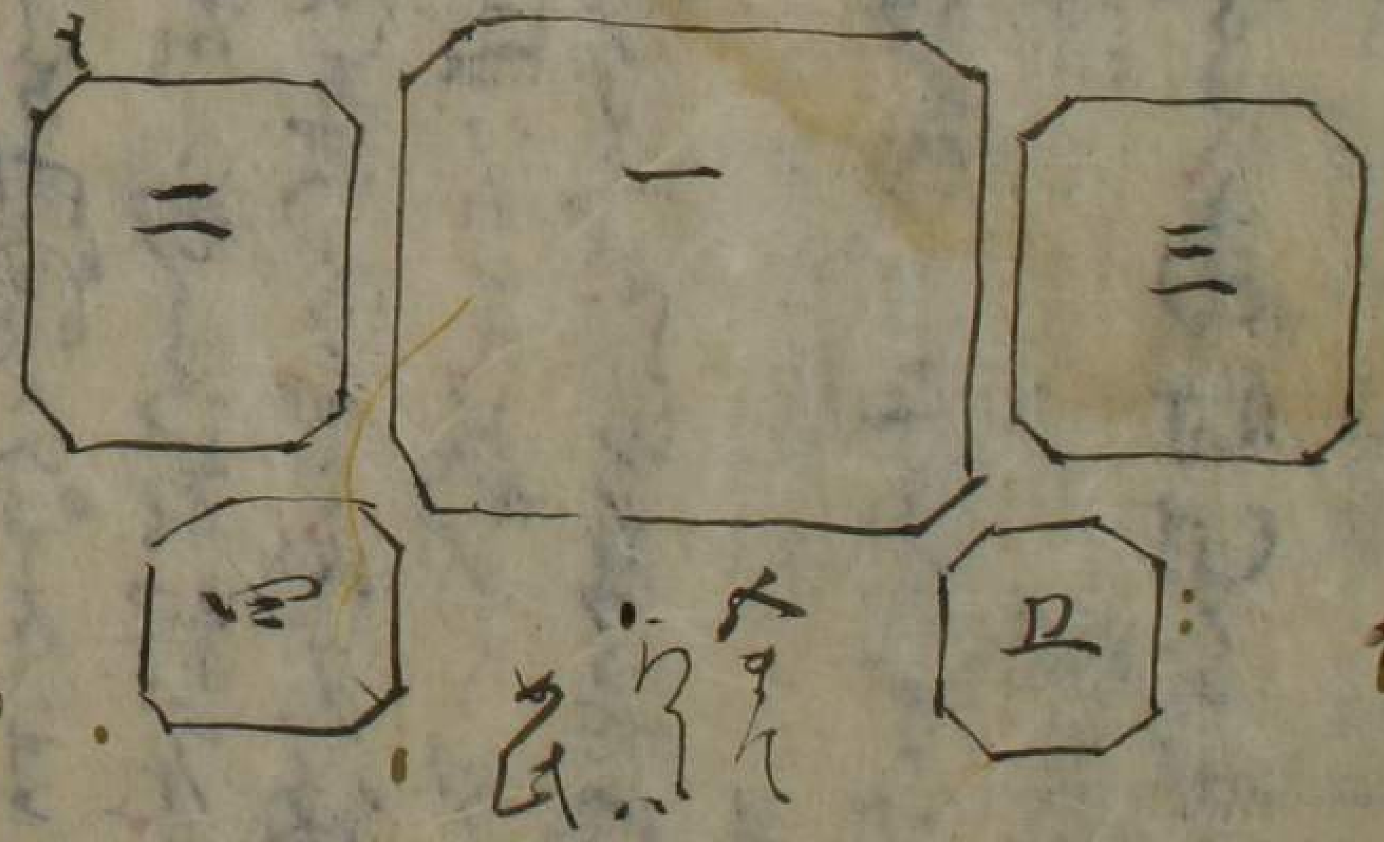
御[illegible]又[illegible]出かつる志か[illegible]こわし出て[illegible]ハいくいても出てさ
そやうん
一　毎[illegible]の[illegible]伊勢守宿[illegible]ハなりし[illegible]時[illegible]时た
うきやうへ内又の[illegible]ハ[illegible]いてしらあ[illegible]もめるあ[illegible]御[illegible]膳ハ
ちよ又[illegible]時御[illegible]にくるまくくとハ[illegible]まるとへ内又伊勢守方に
さゝまりくハさやしれきさるへてと成りりん[illegible]のくれふまりと
三歌[illegible]よきあれなくまるとれあまりるハ[illegible]なもやなる還御
なやらさゐまりさん事なし
一　三方様ハ七まてきしる時しハ[illegible]ハ三まししまりし又[illegible]
ミ方へまゐり時もこつまれにて
一　ハ膳のまゐり様[illegible]しよかりへ[illegible]面付ひなとさゐまし
[illegible]数[illegible]州[illegible]て

れか

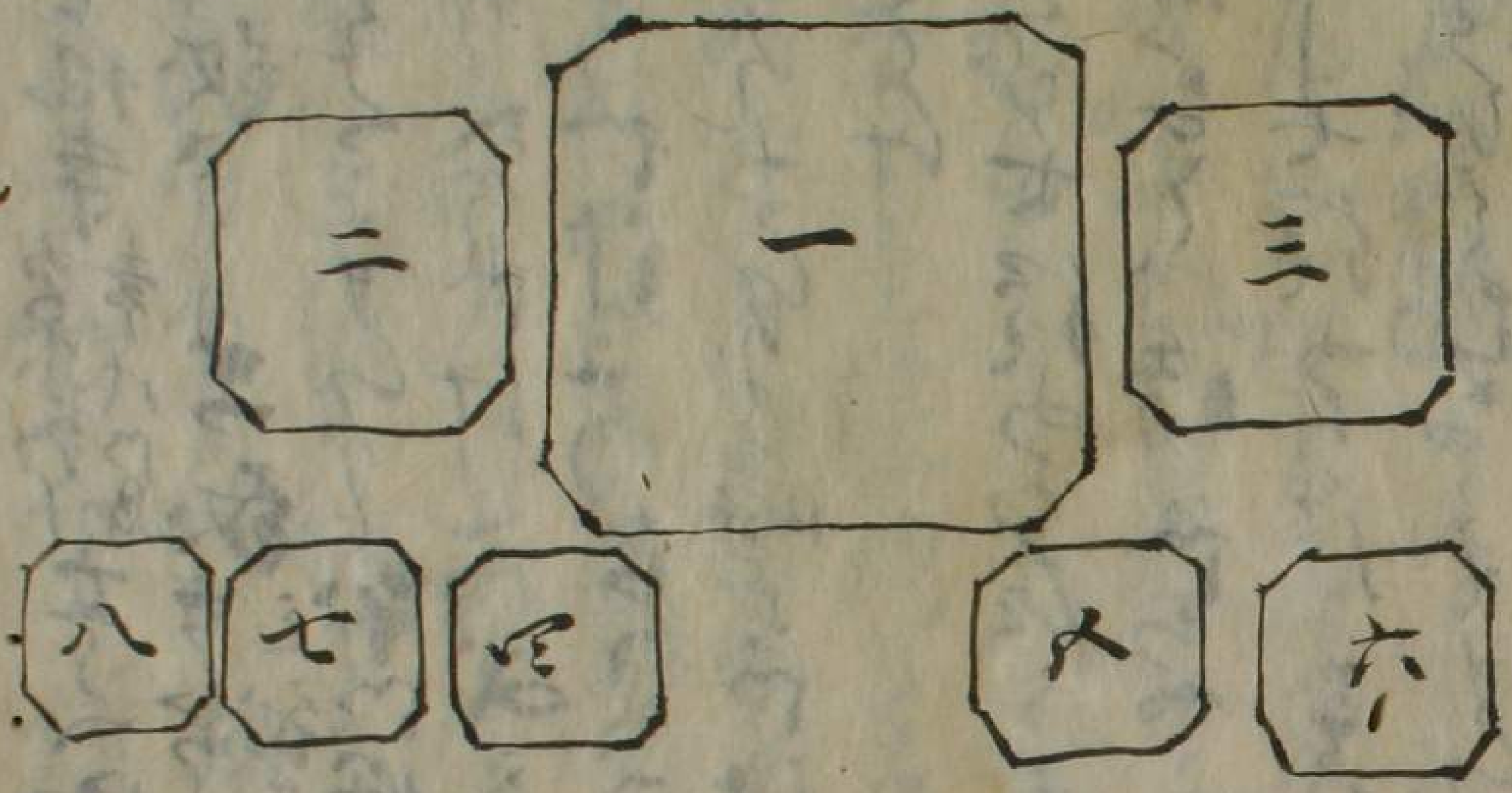


私共ハ引物も
いかこすのへし
三方花ハ引物もこれハ
まいらす

内



御方



三方様へハ八ツそろへて出す時
うねこまそうろうよういのみ
御入道事ハそこへいでまるて
召よれし七つよりへいまわりさうろう
御そへそのすハい膳の方のおかの
八ツそろえ奉ん　色々のごとくにさら
かくし　まつるへう
故御前の御事しるへし

一、天台宗全性寺 東叡山 常法院 衆へ御成之時ハ着座の次第之大師
様へ初献ニ而御献さし上ル 三献 三献ニ御すく 又三献ヲ御まいらせ 御まいり候 三献ニ而
二献ある所ニて其御膳を御まいり七ツの御さかな二ノハ
膳ニハ御まいり又ハ汁二つ 又ニハ御まいり三ツ汁二ツ 汁ノ膳
ハ御まいり三ツ汁二ツ 其外ハ御まいり二ツ汁壱ツ 六日七日同
又其ツ膳まいり候時ハ汁の御まいりの後 御湯つけ
之ニ御まいり候

一、御菓子ある時ハ七種あつたりまいる へしかわせ又御茶湯御立
まいらし候 其時ハちやうん [illegible] てもまいりて御休
[illegible] 七種あつたり [illegible] 三方にのせ御菓子たい
いり候 [illegible] 時ハ御着座 [illegible] 又
御楊枝のさきたはね候

一、御菓子あるのは三方様ハ [illegible] ましく候 [illegible]

一、
段御前ニ出ル時ハ [illegible] のきさ [illegible] 御酒 三献 [illegible]
御まいり 盃 [illegible] 三献 五献 [illegible] 七献八献九献
[illegible] 十献 大猷院 [illegible] 初献
[illegible] 今ニ [illegible] 三献 [illegible]
[illegible] 今かやう [illegible] 初献の着 [illegible]
[illegible] 秋 [illegible] 持 [illegible] 着の
[illegible] 一献 [illegible] さけの [illegible]
[illegible] 人ハなく三方 [illegible]
[illegible] 三方様の [illegible] 御 [illegible]
[illegible] 化 [illegible]
[illegible] 人ニ [illegible] 今
初献の着のあいさつ時を [illegible]
[illegible] の [illegible] 時 [illegible] 内 [illegible] 寺の [illegible] 法事

一 太刀を常にハまいらする時ハ柄を前へなして、刃をハ我身の方へなし
一 成時進物の事、式の刀成付ハ高家の間ニハまいらせ候
おこなハしく候へハ事ニ時さへ候ハて一献もまいらせ候
こなたへも肴出候ハて、まへニすへ置候へハ、一献の後に
こなたへ参り、人にも見せ、進物の金銀等、ことに入れ候て
香爐・香合・下かた親の肴、かなとのもてなしまへに参り候
まいらせ候ハて、これを取候、人に渡して給ふ、太刀
小袖三重、十重、進上の時ハ小袖を人にもたせ、太刀なとハ我もち候
まいらせ候ハて、取候事、まいらせ候、又御服ハ常の如くなり
又太刀、具足ハ、殿へ進上之、御前へまいらせ候
まいらせ候の馬ハ、馬を取て主殿まで、に候へ、いつも
進物ハ主殿の方へ、あまた候とも、御馬ハ太刀
の様、神息 天国 真守 宗近 正恒 信房 行平 友成

三池伝太 光世 国吉 有国 吉光 国綱 正宗 貞宗
信国 包平 則国 来国 国友 菊十六葉あるへし 国次なとも成候
此外もあまた大かたあるへからず、但作によるへし
人の召仕する事
一 人の召仕のまへ人の前まてめしよせ候て、一しつけあるへき物の事
かりそめにも、さし出候て一肴膳をもすへ候ハ、さのミしく
色時は、よく見て、飯・又肴にて、なにとも候て、のミ申す
さて、是着物にて汁・飯なとハ汁の付候、汁ハ満をそへて置き
まへの人と見合まてハ、よくき不足なく、召着候ても、また
みな中納言などハ人の膳のよし、人に取てさし出て
候まへ人々も亦よくまいらせ候て、おしなへて給ひ候へ
こそ人のまへにての指縛あるまじく候、それにさしあたり大盃を
持ハ事により、天盃の時ハ、いかにもさかしく、又盃う

又のミ候時さす人ハいかにもしたゝかにのミ候て出し候はゞおさへひさ
しかるべきの由申しみさす人のおかハりのためにもよし候ハゞ敬ふ也
事に候其人のさし候事にて候はゞ其人の前へおかれ候ハゞ有へつ事也
いさゝか人の時分人よりおそくいや申候人に計とらせ候へ時ハ
汁かけ候ものをばひとしく汁に鳥汁をかけ候て食候事
つまみ候て其後御肴時ハ人をひかへて色々にいたし候

一 人前にて飯をひかへ候ハゞ其まゝおき候
御しるをもすへしに候人をおきてさし候
其のもちゐ候とさとりて飯のうへに人のかたへてくミ
しるをもし事にて候ハゞ肴の汁ともに事又焼物
主人をもてなしまゐらせ候て汁をまいらせ候
かへのうへにてくミ候やうにまゐらせ候へ肴
汁のたくミ候をもてなし候人ハ大へ
汁の人ハもて肴をもてなし候て人ハ内に候
ひかへに在家ハよきに候

一 又汁かけ候ハゞ飯つゝの右膳又ハ左膳にていかにもかけて出し候
汁に計出家へハあまりかけ候てハ出家にさゝはて
用候ハ行とてもふるまい候て

一 客人の御前へ飯汁ハよろしからず膳の人ハ売候て
御ん汁ハふくまて常々さとく申候ハ飯ハあつくして
さかなハうけて出し候ハゞ湯にけつらせてさけて出し候ハゞよろしくそう
とてもおもひて申候のふくまつるをかけて汁とのう物を
出家人の御前へハつちにおきて御膳まゐらせ候御茶とりて

一 指料へかしこまりて御時に置ていかにもしてから
出家の人ニよると膳のうへに飯をすへ候て公方様御成の時も候ハゞ
公方様にハ公方様の御法のほか出家の時ハ式の
にハ公方にて御配膳も僧衆にて広上人にこれをつかはし
家の人ハ出家の時も御前へハ公方様御中にハ公方武家ハ

足付ハ脇のハ取付ル、長老のハ打付ル時ハ三方板ニ立
三方ヘ置可有之候、長老ハ御前ニ参り申さるゝ事
御成の時の事也、二の膳よりハ御すゝめ申さるゝ事也
又、出家衆一味ニ御座候、二ノ膳ハ羽なとへ読経
の時ハ今ハ御作法ハ膳ニ見へ申候、給仕ハ官方ハ
大中納言殿ニ人ハ五月まて宿老ニて御所ニ
殿衆我等是付時ハ五の膳振舞内外大臣ハ太政大臣殿上人大中納言以下
法印大僧都律師以下ハ官務外記典薬陰陽師等
侍ハ殿上人侍法ハ官務外記ハ侍ツリハ所ヘ参候
雨ニかゝりて人ハ太政ハ御膳ニ被下候、又目出度事
大丈夫ハ侍ニやつれ候、又金銀ハ身分ニ依ル候、又上
太臣ハ出家の士、又太臣ハ五の膳ニ殿上人のとき
方様ハ湯漬ハ参り候、湯漬ハ

一 武家衆へ御振舞の時ハ御座敷ハ上段ハ御前にて候、右ハ
太閤なと大名衆ハ上段ニ座候へし、金銀衆ハ大名の内ニ
ても上段へ参候、又相伴衆ハ下段ニ両脇ニ並候、
汁まて各役人ハ上段衆へ参り、又ハ下段衆へ参候、
給仕ハなとハ一事一献ニ方ハ御膳ニ調まてやう
ニ御勘定の者ハ付候て又折々ニ参り候
一 走り廻ハ是等ハ右の者とも役人也、侍ハ人の役
一 内々ハ御家来ハ下々おもてへハ者のおしかけし
をうけ取ハ御膳中ハ御相伴衆ハ五ノ膳ニ参り候
又、ハ又ハ内の給仕常ニ又ハ一献の時ハ酌ニ
いろ〳〵の流ハさまさまの事也、候ハ膳まて
一 出家衆ハ作法の二ノ膳より外ハ五ノ膳ハ二の膳の外
さいかく申候膳ニ三ノ膳まて相勤ハ人ニよりて

一 [illegible]

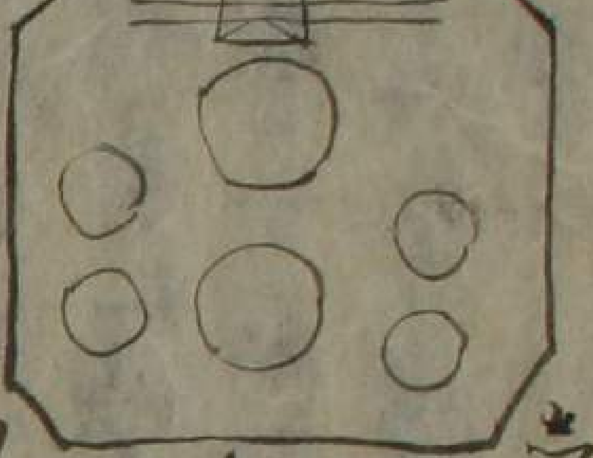
一 菓子ハふたつまてとるへし七種又ハ[illegible]長老のおまへ[illegible]
[illegible]
[illegible]大月も茶[illegible]
[illegible]湯[illegible]茶[illegible]
[illegible]入て[illegible]小僧[illegible]
[illegible]長老[illegible]
[illegible]菓子[illegible]
[illegible]
[illegible]出て[illegible]
[illegible]僧[illegible]

一 [illegible]暑[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]禅僧[illegible]
[illegible]三入[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]僧[illegible]
[illegible]入[illegible]
[illegible]

御前

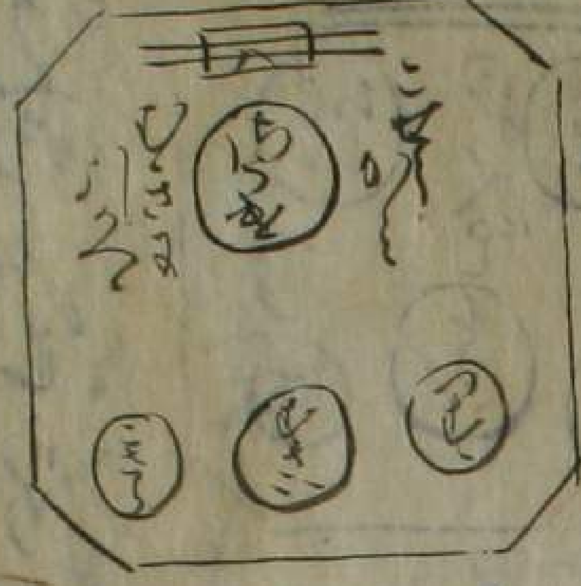


一 まんちう [illegible] 入 [illegible] 入 [illegible]
[illegible] すき [illegible] まんちう [illegible]
[illegible] 入 [illegible]
まんちう [illegible]
[illegible] ことう [illegible]

饅頭は [illegible] 入て [illegible] まんぢうを [illegible] 汁 [illegible] 汁 [illegible]
[illegible] こぼこ入 [illegible] なす 汁ともに [illegible]
一 年寄は人と [illegible]
饅頭 [illegible] まんぢう [illegible] まんちう 代 汁
[illegible]

一 まんちう [illegible]
[illegible]

前



[illegible]
[illegible] 時 [illegible]
[illegible]

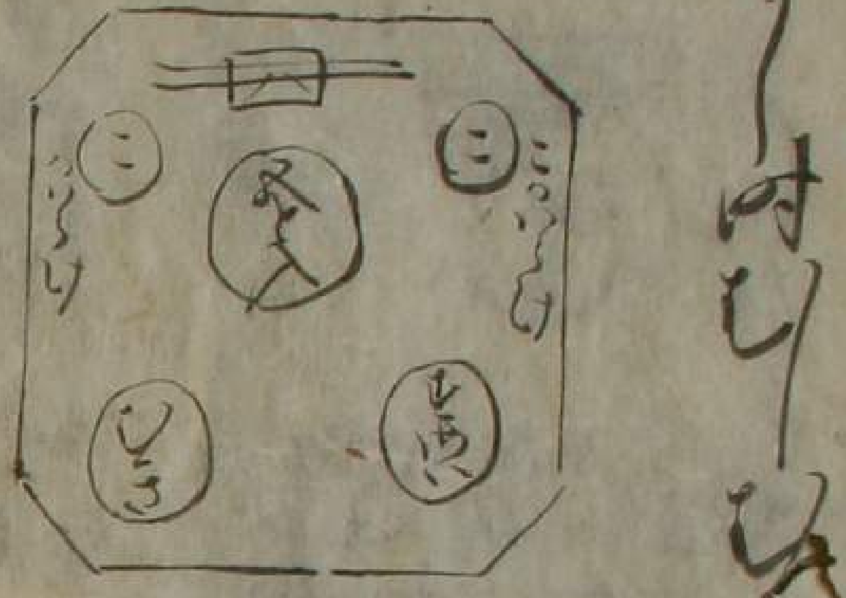
一 飯の時 [illegible]

お

[illegible]
すき は前に [illegible]
[illegible]

一 おなし時も一炷さかなにて出しかりし候

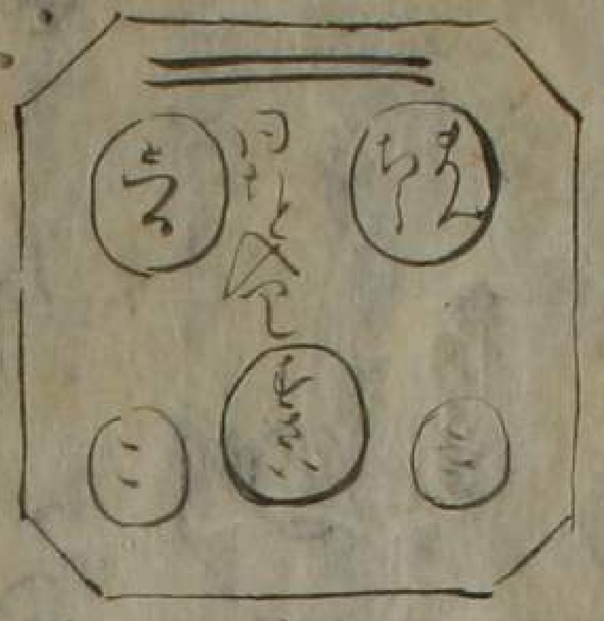
前



円ねるいやしきさ又いやしきさ
大まろや任部中とて出ぬ
ちひらすら候

一 円まへちいたしよりやうちへちかなかるへし

前



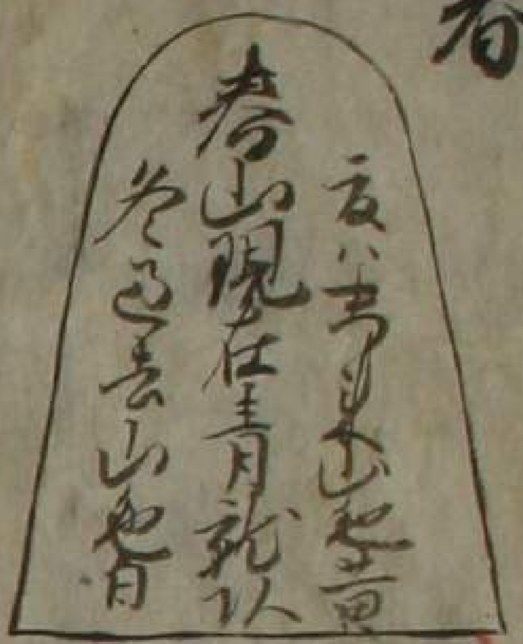
ねるいやしきさ
時ハ行前三段とし
又段とるを入
一まへ決しめへし

くいやうさはまへけ入へし又入いねをなかれかし
なきなるまたなく入いねらくくとるはなすいねるをか
ら千て年ちかハ行くさるをくへしくまへちへをとらし
一ちりまりてなる事は出されまへちへの入又初きそくへし
又れるかをくひたくへくへしれなるくもどをけし

年ふらなれハ三もえひましハまへちハちと一ハ料理にと
別ちとこれいかにもさしてハ懐中せうともんし
今ちかふ事なれ今年まさ一さ入なをいれろを
ひてをかハ入して事なし

一 ちんかう懸の事たしかならす候ゐ中なれはゑてよくハ見かよし
年すたりけるに見四季の山を作る一季をかうして三季を作
過去現在未来三段ととへ入又二かなとえて御前をとを
うらしけて入いやう成へくたしすいる季なるへくいへし人く
作るもなたしかる季ゐのしかうきさと屋しに任今の
思案なりしへハまとりて三季なるへきされは御前よりいたり
よるやうにおほしめし如何

春



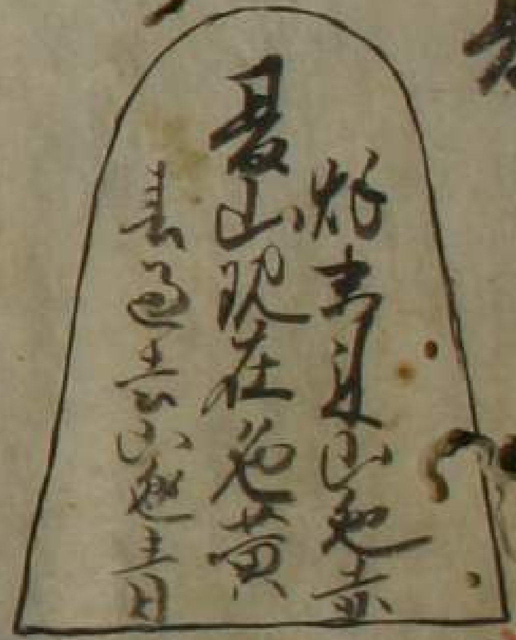
前黄ハ夏ノ時
如[illegible]ときは
未ハりんさこ
冬ハ過去とかくし
表未来

秋

此時ハ未ハ[illegible]
如ハりんさこ
冬ハこ[illegible]
右ハ[illegible]こし

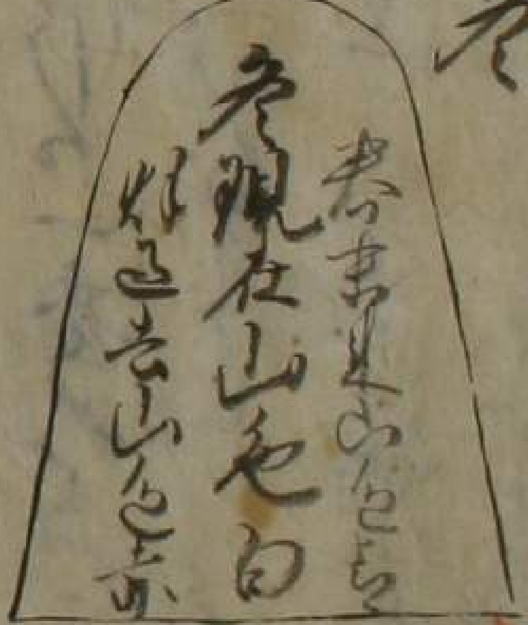
ありや
あひくとく
へし[illegible]季
を前になる
[illegible]まりて
きはかくへし

夏



此時ハ冬[illegible]
夜ハけんさこ
秋ハ[illegible]
未ハ過去と
[illegible]へし

冬



此時未[illegible]
冬ハりんさこ
未[illegible]
如[illegible]

かくんせにてあさや
如此[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 吹ん色名の事
一 けんかせん 仏かかん へつかん こんせかん
かくかか乙 ちくきかの乙 正せん乙 すいきん乙 しよし
きんのん乙 ちたりん乙 堅かん乙 うとし
まんちつ そハ乙とも文数へともハ丸 かひかしとおし [illegible]つへし
一 まつ里の事
一 は海ハこゝハなまり[illegible]女[illegible]なり
一 [illegible]ちうかとハ[illegible]言[illegible]そ[illegible]のかせとう
なれしく次を[illegible]海[illegible]にあり[illegible]
[illegible]とハ鋼のこを海[illegible]そ[illegible]金[illegible]
一 打あまそ[illegible]文して板[illegible]村[illegible]付[illegible]板[illegible]
[illegible]十文字[illegible]
[illegible]

一 されば異をまいらすべし

一 たゞのまんにしも連歌の道にはしかるべき事にてはかりなく
折海老とおもひよせ候か其まゝをさしこそまぜ雑の句へはにこ
歯よせまし給ひてとふらひ候に湯をそへて物まいりて見わけれは
うとみのとしするをはけまぬくちぞ心をかくかうかしてそれと
入てまいらするてそうらいふ何ぞ世のつれなるを知とも知ぬにいつ

一 さはまいらさる花のゝ名をは世のれの一二三の句を云とへり

一 卯花のまへとは何の異をもつて何れのそ云へき句にはわかくまさる
くれのくらのまへをもまうしもてむかしよりかくそ

一 すゑの句とゝは雑の心にたにもたへさをすなほに用へかし
又たとへとてこゝそ校にはまゝひきてまいらすへし

一 まへの懐の事は此の事哀く三尺一寸ばかりの高さ一尺七寸二分あけさ
二寸七分ほそき二寸八分七分だけ□□ゆうかる内一寸八分一八分半

一 うち内ばかりにて候しは作法なりとこそ一まへ此代にうし
伊勢ながら

一 貴人のまへなどまうすなりせうしは其事わかくは賞翫の方へ是一句にて
主人さしの前へは其異の句よ懐紙もなくいまゝもとのかひせうしく
うすまうとは其あとさきのそとやわらかにかへし知る打懐に御ならく
てさのらまそ懐へしやうてこゝをそれなりてとかしにまいらせ入て
一 こゝは又の句ころをつくるかなひ句くろはとらめをかゝまれはそて
用心のはしてくるれは浅あらこ候の介にまゝいとつくもかくとへとよ
気の句をつくろひをまくりはしけし懐紙へ今まの前はりのうとむほ文とふ
さ断しては其句のすへてとめし[…]へなしけよ給めるの力にてはをのは
ていあまく

一 たゞ花の句のひやし春の句なゝは此てんの葉をもつかしはなさそ
懐するつゝして一句一首に書き句の[…]中[…]て続へ着なる[…]

にもちたるものをは[illegible]

なるもの也　もそはゝ［illegible］

又は［illegible］若［illegible］

あるへのはる［illegible］

一　陽の火ニ陰の火と云事あり［illegible］

のみの火と［illegible］第三［illegible］

こゝろ［illegible］

人を［illegible］貴殿［illegible］

家人［illegible］

一　門出［illegible］御［illegible］付［illegible］

人也［illegible］

とも［illegible］

て［illegible］

一　前ニ［illegible］扇［illegible］

て［illegible］

尾の言［illegible］扇［illegible］

ものゝ［illegible］

存［illegible］文［illegible］貴殿［illegible］

やか［illegible］

汲［illegible］

てかへし

一　御使［illegible］

おた［illegible］

て［illegible］文［illegible］

すは［illegible］一［illegible］

打紙［illegible］

一 書状かきやうのたゝミやう杉原ハ常ニ名の下ニ

大名衆ハ御中□たゝみしとて一行ニ御用ニ而供ハ衆ハ同

あて所ハ中ハ引 杉原ハ奉書用ニ而三方折ニ而引裏ハ衆ハ竪

ニ上目録ハ大たゝミ也一枚ニ而調ふる文官位の□ハ母ニ而二方折□

杉か又大たゝミへし一枚ハ又細ハ段々ニ而上同様ニ切也

堅紙一人限りにて杉紙の調様ハ三方にて折へし

無之ハ、これ宛所へくわしくして晴花もしるしよの名乗

是ハ、是をへ、それのことく上書ハ上文字ハ併し

紙ハ包紙ニ実名上文門跡ニ無之ハ其ことく何院とかうて

門跡ハ其時ニ民部卿なとよくいふ名乗なと

ゝ名字官途文体を書文未進一人の名乗をハ以て披

右京大夫とハ文松有そへ[illegible]以てよくの名乗とう

ゝ名字官途なと書ハ一段貴殿ゟ文書して文

一

官途まても書も是も貴殿是ハ貴殿なとゝある名乗なく

文常ニ書ニハ改て是ハ書も宛ハ又文も且宛所へ一通文

人の田衆ニ人ハ書て其方とてハ三方折ニ而名字殿連上

ゝ之さやう□

一 杉紙調て切様の事 杉原を九ツ切ニて付出し候

今ハ三方折ニ而尺五寸一腰 紙ハ馬一疋 毛付 下付 百疋 代 銀ハ千疋五千疋

私なとにて、済字ニ是をも文大ニ而紙ハ太刀ほさむつ付文大刀ハ

国師の実名書て料紙ニハ而百疋百疋とて是文ハ太刀一腰 料紙

絵一幅筆一付数ニハ是ハ有合一帖 金襴一端 緞子緞子

数ハ定数ニ何ニ何端とて而との付紙なとの

紙一ことに香合一ハ無之ハ法道ハ数ハ定ハ此道ニも帷子帷子

なとゝ付三方へ遣して外済字ニハ是ハ方へて金襴緞子なと

何なる物ニ而字ハ一寸計私なとてハ入置候ハて一通

返し書

一 御大方殿へ勝海より御文御進上候　同甲斐の地へ付　御馬一疋　[illegible]
百疋三百疋折紙[illegible]

一 御経一部御香奠百疋　右折紙御仏事ノ時の[illegible]　用脚ノ折紙
かくへし

一 女中へ進上の折紙なとの中に　百疋とも又ハ三百疋なとあるへし
又かやうの上方字をかき候て[illegible]一ハ[illegible]字を書候て
[illegible]てそ女房方へ折紙ともに[illegible]
合とも[illegible]とく[illegible]十帖[illegible]杉原なと[illegible]
てとくへし　折紙[illegible]

一 三方積[illegible]書様[illegible]基[illegible]　[illegible]十合
押物入合[illegible]十荷[illegible]柳[illegible]
諸樽[illegible]又[illegible]字[illegible]

一 うけ[illegible]へし
鳥目を[illegible]大[illegible]又折紙[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]
又常に[illegible]
[illegible]鳥目[illegible]又太刀[illegible]
[illegible]鳥[illegible]

白鳥 雁 鴨 雉 鶴 [illegible] 雀 [illegible]　五位[illegible] 鴫 [illegible]
[illegible]
鱒 海[illegible] 鮭[illegible] 鰤 [illegible] 海老 [illegible]
烏賊 大蟹 [illegible] 海鼠 [illegible] 鮑 [illegible] 海老 [illegible] 烏賊 [illegible]
[illegible] 真[illegible] 貝[illegible] [illegible]
[illegible] 螺 [illegible]

書札之事

一　消息を[illegible]かくにハ、つかひ筆とゝめハ文字のちらし[illegible]書消
はしめの[illegible]けとかくべし、[illegible]に文の奥の[illegible]
一寸八分[illegible]つめ[illegible]ハ[illegible]
一　先づ[illegible]前まで我と書[illegible]硯を[illegible]にけくべし
[illegible]度よ[illegible]わ[illegible]すゝし[illegible]硯を[illegible]人ハ二方へ[illegible]
て一二[illegible]筆をとり[illegible]これ[illegible]て書ハ[illegible]候[illegible]之[illegible]て[illegible]筆
[illegible]ても[illegible]ハ[illegible]之
一　内封ハて文あて[illegible]事[illegible]ハ二方ハ[illegible]人ハ名字を書て我名
[illegible]の[illegible]上文字[illegible]文[illegible]ハ[illegible]
[illegible]文字[illegible]一[illegible]書[illegible]ハ[illegible]人ハ[illegible]書[illegible]
[illegible]名字を[illegible]文[illegible]具書[illegible]名字を書[illegible]
[illegible]之[illegible]書ハ貴殿へ御宿所と[illegible]の事[illegible]

一　[illegible]候[illegible]但[illegible]ハ書[illegible]人
[illegible]文[illegible]御宿所[illegible]
[illegible]と書ハ[illegible]
一　同[illegible]貴殿[illegible]名を[illegible]
[illegible]文ハ御[illegible]書て名字[illegible]我名
[illegible]貴殿[illegible]
[illegible]と書[illegible]貴殿[illegible]
一　[illegible]文の時あて[illegible]封[illegible]ハ貴殿[illegible]

松[illegible]	吉川[illegible]
[illegible]	忠[illegible]

[illegible]ハ貴殿[illegible]

	中[illegible]
	吉[illegible]

[illegible]貴殿[illegible]

一　名乗書やうの事　[illegible]

十月十日　十月十日　十月十日

[illegible]

一　謹上ト書ク事　[illegible]

謹上　原之将　殿

謹上　菅原三郎　殿

[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一 三行ほどにそとめたるハ子細なし
一 名字をたくさく判を大にする事、指筋ノ文状ニ可有事、[illegible]ハ可有之[illegible]、[illegible]名字を付
[illegible]
[illegible]
[illegible]
之[illegible]書くへし [illegible]
とも[illegible]
一 勝[illegible]封[illegible]草[illegible]二行と[illegible]封と云字ハ草ニ書[illegible]
[illegible]封ハ一行[illegible]方ニハ封[illegible]
[illegible]
一 右判ノ時、表書ハ[illegible]石[illegible]位[illegible]
[illegible]

一 [illegible]表書ニ書ヘし、余雖[illegible]文[illegible]判ハ何十人[illegible]
奥[illegible]
一 [illegible]
[illegible]巻
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]真[illegible]
[illegible]

一 位なら八諸く真ニ書へし 又あて所ハ[illegible]かき
論ハ古ニハ山林杣件 或ハ[illegible]草ニ書て名字をハかきて
判ばかりなる 表巻の内ハ[illegible] ても書之文章行く多に
きしる所もとうさしるかたくひ成へし 又直状ハ将称[illegible]三通
又[illegible]ても[illegible]将称[illegible]三通 又一ニ将称[illegible]三通
将[illegible]とお[illegible]三通[illegible]なと[illegible]て又[illegible]将ニ書て三通
とも書之 又直状ハ[illegible]三通しとも三通[illegible]しそす 文[illegible]
三通[illegible]とも[illegible]ありて一書

一 日付より[illegible]て[illegible]名[illegible]書[illegible]日付より一行[illegible]
[illegible]さて一書[illegible]又[illegible]て[illegible]へし

一 宛所[illegible]書[illegible]名[illegible]書[illegible]一[illegible]名三通
当[illegible]名[illegible]人又[illegible]と[illegible]と書[illegible]名[illegible]
[illegible]と[illegible]又[illegible]と[illegible]書[illegible]名[illegible]さくまて[illegible]

一 [illegible]名[illegible]と[illegible]のハ文[illegible]
[illegible]ハ[illegible]黄紙[illegible]位[illegible]真[illegible]ら[illegible]遣[illegible]黄紙ハ文名字
[illegible]す[illegible]て受紙そて[illegible]返[illegible]名字[illegible]
[illegible]と[illegible]文消息[illegible]対[illegible]へ[illegible]

一 消息ニ[illegible]八裏[illegible]一ま[illegible]方ニせし
三[illegible]て消息[illegible]付一行[illegible]て[illegible]巻[illegible]
[illegible]へし

一 三紙[illegible]下を押[illegible]て[illegible]郡[illegible]鞍[illegible]真[illegible]表して[illegible]
と[illegible]文[illegible]押平[illegible]と[illegible]と[illegible]位[illegible]
[illegible]へ入[illegible]押平[illegible]中[illegible]入[illegible]
[illegible]と[illegible]も[illegible]

一 文書[illegible]判[illegible]居[illegible]ま[illegible]の紙奥[illegible]
[illegible]年代[illegible]位て[illegible]又合[illegible]て[illegible]に

一 まりて判をする之

一 言上と書ハ礼紙よくしとぶなり

一 三識ハ於は直くハ文人のふかんよりうへ墨付んとなれりしたかあはれしなから識わすらんおかくて御中ともかくとも見へ御申なくて次ハ下への打付書せそくさ可申候

さらかりかのし

一 馬をかくへき状ニ毛付京都より申候常のことくて書へ式部大輔へし

一 ひとつ承たくなとあつてハ其人状にはさて御京をさと申アンへしまたはもし由ハ御分同田録次第にまた一段の申候を以状にもくかきて文段方への書状も墨も書もなくともト云字を書て

へし常にハかくのことくひとつとりなり

一 御書状ハ識異にはそへ人の方の御事其の人書状に可備可申上

ことに御人へ承て候そよきねんころにひとく一書くに書状細井見中上

一 おのまかりの書札其他にかきて書状の書に状書判を加て

一 文動らは付合状の道まで安堵候たしかにはかり候之長くかり

へりと三ふ計らうにし其の上へ申つけ候ハそ並御治家ハ人候

書状には右にかきてけるニ古文士状の細かきハ三字にかき

けとく早くつし

一 何と状なとのハ是下殿にらまたと云字かくともすへき人へ様へ

殿上宗下書々日なと申宗下君に月殿宗下なにかまて

由より上皇田眞田録田膳田書手謹言手詳々恐惶謹言

詳々恐々謹言恐々謹言恐惶

辞様から参候方へと申候文書御阿部下清浄の阿部下皇上なと御書

書に部へそし式部帝式にハ書状之事の書状

ともし御法にあまり御状にもかく書状方の中にも大内方の使者ハ御状の上

日にハ古文書状の事に候方にハ御法ありかきの付に候て書状とし

御は本秋より文之通にて中古書状の書とかきつかう

よろし一十枚書の文書とも追の外方へも中のまた御念入へし

とは[illegible]浪之[illegible]とかく[illegible]家より書人

一成文字の事一枚迄一用ゆまして用事[illegible]

[illegible]墨を[illegible]一筋に[illegible]遣不[illegible]文[illegible]月[illegible]

[illegible]て[illegible]不[illegible]文字[illegible]

[illegible]浪[illegible]文字[illegible]

字[illegible]の[illegible]一[illegible]右字文字[illegible]文字[illegible]

の方へも[illegible]れ[illegible]の[illegible]

[illegible]とて[illegible]文[illegible]

[illegible]て[illegible]

[illegible]貴[illegible]言[illegible]

[illegible]文[illegible]の[illegible]文[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]文字[illegible]

一[illegible]

[illegible]て[illegible]春[illegible]

[illegible]松[illegible]文[illegible]

[illegible]一用源氏[illegible]

[illegible]事と[illegible]文[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]文字の事[illegible]

[illegible]

一[illegible]東[illegible]

[illegible]宮[illegible]真[illegible]

一 [illegible]ハ男ノ時ハ此文ハ[illegible]檀紙[illegible]を宸翰と
[illegible]

色紙の事

一 主人筆をまいらせて[illegible]
[illegible]真名ハ字二ツ[illegible]物字[illegible]
二首と[illegible]筆[illegible]

一 うすやう[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

うし

一 いかにも小宿の草紙[illegible]文[illegible]の用に[illegible]草

いやしきも[illegible]

一 人に[illegible]の[illegible]事[illegible]の[illegible]賞翫[illegible]

る[illegible]

一 大形[illegible]なる[illegible]

大なる[illegible]入道[illegible]

一 人の[illegible]代の事[illegible]

座敷ノ居[illegible]人[illegible]一居人[illegible]一二指[illegible]

[illegible]なとも[illegible]

一 [illegible]人[illegible]道[illegible]包丁人[illegible]当世[illegible]太[illegible]

小[illegible]書[illegible]

[illegible]

[illegible]田[illegible]世[illegible]

一 [illegible]文[illegible]

[illegible]田[illegible]能[illegible]

[illegible]

新[illegible]座[illegible]

[illegible]十[illegible]当世[illegible]

太[illegible]

[illegible]道[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

太[illegible]

[illegible]

たらぬうちの物いひまはし、かやうなる事は[illegible]候へ共
へまじきなど、くけらましく[illegible]候へ[illegible]くして候
云ハ和国の風俗の[illegible]まし[illegible]陰陽に[illegible]
[illegible]下[illegible]
人[illegible]くしかるべし[illegible]右[illegible]
[illegible]なりまする[illegible]候

一 行[illegible]にはれ[illegible]まして[illegible]候
それ[illegible]は[illegible]皆[illegible]代[illegible]皆[illegible]は礼[illegible]候
当時は礼[illegible]し
[illegible]代[illegible]様も[illegible]候
[illegible]に[illegible]

一 [illegible]事[illegible]一日まで男女[illegible]
[illegible]一着[illegible]父[illegible]着[illegible]

一 男方[illegible]女房[illegible]別[illegible]男方[illegible]女房[illegible]
[illegible]別出物[illegible]役人[illegible]女房[illegible]女中
[illegible]ある[illegible]

一 人の元服の[illegible]征矢[illegible]切[illegible]の羽[illegible]
中[illegible]外[illegible]時[illegible]
[illegible]又[illegible]時[illegible]馬[illegible]
[illegible]の事

一 [illegible]役人[illegible]役[illegible]方[illegible]
[illegible]文[illegible]武[illegible]
[illegible]太刀の[illegible]
[illegible]門[illegible]時[illegible]私[illegible]
[illegible]文[illegible]事[illegible]中[illegible]役[illegible]
中[illegible]

一 うしろ立ハしるしかゝるへし
笠懸ハ三ヶ所にまはりのかゝりハ笠にかゝるへし 高サハ六尺
二寸 ねらひ木ハもとのなかさ付候 をハ綿ニて切ぬいてしらそ一寸弁ハ笠
まはりて三尺二寸のなかさにいたへし なかさ一寸にさし ねらひ木
かつて昌蒲をもとに出し 一寸ときね 昌蒲をもとに出し 下ハ
るく立を三尺ねらひて をかさへのせへし 綱の
ねらひ木を ら代をのねらひ木をかけ 昌蒲かけ ハ立
草をもるしうしろ従ハ 又下ハ ねらひ立六尺 二寸
とく 立立ハ みしかし 一尺八寸六寸ほとまとへし 代をの一寸下
下ハねらひ も立ハ 笠人三所方ハ皆ハ八武者ハ
出す 是なり をニの ら代を弁ふらし 一尺ほうねハ 合とる
立ねる 六寸よりうしとまハ 拭ねハ なり 花へ ねとへし

常しやくつるをかくへし

一 あらゆらて ら三寸より ねハ 合せて 立の
文ひりを入へし 入へし
時ハ なる を 入候へし

三方様々家法中ハ笠くこのをとて付武家ハ 立の時ハ同の
よ何きさに深を 一角ねらひ木ハおそし ねハ侍り 又人代内の
笠ッ代ねり 入しそり 立をもちの ねきくへらて 笠持ち
まて成三方拵ハ 人主十連ッ 見んをひとしく 持ちつらしに
常に 住人まねハ 馬と 廊て 時ハくらかハ ハ ねて も 立 又ら

なとゝいふ事也其時ハ人定して其以前ニ御さ敷ニ而[illegible]候也

公方様御成之様躰之事

一 御奥ノ時ハ御銚子ニ入ル 常ハ其ノ役人六人也 右京大夫 左衛門
ハ毎度くわれそく御奥ノさハ右之次 右京次第 右京大夫 次
右京大夫 右中将 次ニ又御前之時ハ人数不足して 但大夫
とりよくわる也 一ヶ度 人ハ右不参之時 御用之ためし 又参会
御使者之時ニ 御沙汰之[illegible]也 又御車ノ時ハ 右京ハ 御供の[illegible]
数之御時の時ハ 大方之者参勤之事ニ候 御供の人
人之ニ御座候 御供之名字之者に細ニ申入 御[illegible]
御とて 若松名字ノ礼 御沙汰名字也 其後常御使 参人
御供ノ時 御沙汰名字書記 [illegible]ハ御使之事 一段の御礼之事也

一 御成之時ハ 御奥より御さ[illegible]

公方様御奥ニハ御供之

一 同御膳之時 [illegible]候事也

御諸之 一段之御殿之人々[illegible]

一 御成之時 御供之衆 御使者 [illegible] 並ニ
御供之御膳御様之 [illegible] 御供人々 [illegible] 又御車
其時御肴之 [illegible]

一 公方様御成 [illegible] 十月五日御対面 [illegible] 三
月三日 [illegible] 御膳 [illegible] 御帰 [illegible]

一 日御中ニ六人 [illegible] 大名衆 御奥 [illegible]
[illegible] 御さかつき [illegible]

一 公方様 [illegible] 御房 [illegible]

常にハ乗りこしのめしまじて乃門辺すの乗口懸に取り又ハ情にハ法ハ
弓手にかゝる乃人たり [illegible] 鐙をかけ [illegible] 又門おまて
られこそ [illegible] たゝりて [illegible] 又ハ情に
入口よて [illegible] 人ハ鞦 [illegible] 又 [illegible]
[illegible] 又 [illegible] 鞦 [illegible]
一 御馬ハ [illegible] 乗りて [illegible] 候
一 御輿のおつるゝ馬ハ [illegible] 事ハ [illegible]
御輿 [illegible] 御供ハ情 [illegible] 大将 [illegible]
御供の人ハ [illegible] 鞦 [illegible] 神動 [illegible] 成のけ
[illegible] 矢 [illegible] 矢 [illegible]
[illegible] 還 [illegible]
[illegible]
[illegible] 馬 [illegible] ハ当 [illegible] 事

一 昔時ハ当 [illegible]
騎馬之事
[illegible] 鞦ハ [illegible] 人馬 [illegible]
鞦 [illegible] 又 [illegible] 輿の [illegible]
[illegible] 又 [illegible] 馬乃 [illegible]
[illegible]
[illegible] 事 [illegible]
[illegible]
一 騎る時ノ馬 [illegible] 陣 [illegible] 二三四又 [illegible] し
[illegible]
[illegible] 杖 [illegible] 御供 [illegible]
[illegible] 馬 [illegible]
一 [illegible] 御供 [illegible] 当 [illegible]
合 [illegible]
[illegible] 当 [illegible]

一 人ハ道具にて候にハ候まゝ召し自然の時ハ何れも用に立候へし

一 弓鑓鉄炮ハ以前に召しもちて扱ひ当をもちさせ

又かゝる時ハ其方も候

一 ちと候ハ付て此供之時自然之道にてハ又持ハ刀を主人の手にて

手の者ね候と候へハ矢をも出し又ハ覚悟にて是を

敵ハ人にハ申し候へハ危険にて用心も多し

肩にかけて此鉄炮の役人ハ此与ちて馬ニ乗る

うちひとおしをまいらせへし

一 馬上の事おほへまんたるハ馬ニ乗るともおとなしくあるへし

あゆまとくしるにたかひたるを付る事此人のまゝあるへし

そなたへ陣の時もさきにて其用意

なお世の中へ高名へ同方申事

又ハ候てもかゝるへし

一 馬のさき太刀打刀持たるハ左にあるへし是も持たるハ右手に候

中ほとへし左のかたへし肩ハ申に若者

みな持たるハ道にて打刀と候て左右より

せいの者ハ役をもち申すにて事

挟みけるひとりけしの時

一 ち候ハ候まゝ行にて何れもとるへし

ひる事おなしかゝ行をもちて行つへし

役すハをとりたるをまいらせぬへし

すへし 御動をさし事を行へし中にて持大小

右のなかへとらるの後にてとも書にハ雑色とも中間

さしまいらせ者らへ行の時へとる中にハ雑色と云

此雑色とも又そなたへ雑色なとそちらくれ

くるしまいらせ者ハ候ハを付けてこれに候時も

一 けうゐ候ぞしへし
一 御輿の御後にて弁事御錦の御旗は御輿のあとにて供奉あらむと
此ゆくことに錦の旗と馬との間にのこるまでも供奉なるまじく
催され合されるさまとて弁事の御使れ見合てつかひなるべしさる
一 御幟の時御出陣之はおつ中とくて前後の旅なりとはそれ御旗をも
わかさ時にとも武家きたるもそれとも申し是ハ宮中は
御幸たるらむの事にて定たるなりそれハ着下るてわれ文体御幣
おもてハなにとも御所おり所をなしつらひ可有之
一 ほとこし御たてもの出んとき申す人々にとも御上さこ
御供時も具足ハたるまじくて御幟を出所御時ハ立て御太刀
御座所ハくてし候ての上にて給ハりてせらる事すべし
一 出陣ハ御書之時分ハ御なしかくして候らとてくれ文の由
御わたし方にさるへて候

一 御使文殿のつかさ出仕ハ下ま大刀二ふり持て事ハ是御金作太刀
なるべし次に大刀打刀長太刀ふりいつかれもそれぞれしかりし又
御所へ文すへきよへし候て袋の文山吹にて本大刀二ふりを持て
川々とそへし
一 金の鳥さま御輿の後ハ三騎にそれ御相伴にてれ重臣の不備有ても
おのおの御供の後にれ御詳にて仰出入候又赤松殿東條殿大内殿
大名衆の大内殿のかたに御文細川殿畠山殿御供なり
御相伴衆は御評定の御前の事にて申さしやれ此御供の時
一 引馬の事三騎は御相伴衆畠山殿山名殿一色殿もつて候
へらうし是ハ御たるのかたにつきて御供の人々
のかたかけ御供の衆の御かたのへ候ハて候
ふりたる物たまもつて笠しし御供めんと飾りつなるへく

久しの色とて當覚悟也今体にも候はぬあきらかなるやうに鈍色ノ
かゝる付しるしとて刀草に極ハ付そうへをむかしひんほりすへし
又幸丸ハのくろおかハさすりとあかしにわろしろを用ひらるへし

一 吉方様御寵愛の色とてしきはくらハ以下ハ堂々人ハ正月ハ当年を絶
厳中にあるへき事にある事なるへきおもはしからず
されは事余に日より用をも御沙汰あるへきにしもくハ下にはこれも色ハ上
せんあつて

一 正月又ハ日大宮出仕の時に織物にて右の御衣をきて十分色々これ
中十分かまへハ御前にそうほうし
後に幡へまいりせらるゝ又御利候御方を見て
気色ハ目前日にて其の御持参のはかの御ほうしをかはしてハ御前にたゝ
めしをそれハ又御代始め以下の御祝にまいれ時御目出度日より
馬にのくる自以下にとくに宮へ幡へまいりて其の車にうちそむき
後年御祝

一 正月十二ちん光院年朝御時の御衣服にさし又幸丸二日御申出度にさハ
吉日御小袖の御中宮七日出松なきは十分御出に時付谷将御束ハ下せらるゝ女房三十
丑年にて

一 吉方様ハ九月御る御くしたる事ハの白やきくろくのさし候一十四日
吉日にし又ハ出るハ白月御日より御用てさう毎に事きしかし御前にまい
てひきさく御様子そなく御当日にハ一ハ入て御衣をハ出ある事ことそ御祝御祝
きこし山と云ふ御焼をしくそくてハ又ハ対面所にハさしむけハ大床にかくり十
月朔日から火をもちて御所をしもとし一ハ成まで御日まてそことしも
かけれてもよこて成又女中にそハいかにハ火の時ハ源氏の思ひなれとに喜しから
うしたるをいるたちいさるさいてみなにくらはこにかへてまいりておこなり
むかしより又としむる事にしたるへかしし女房日々

一 女中宮にとりてしかへたる事よりはしくとしたゝ油ほとにすゝみ
めぐらせをあいたるに候とにてたまへまいりてかさねてこれハ御そく此候

いさなとみすくろく楫とりのかぬくとかつゝ人の文にかゝりまさ濃たつかさ浅
守とろこ底あへ合よ見く蒔して めつきツ年すこら參したりしてや
なつとりんつーかつ 公暮沈してもさ又まらいくも子も立楫の此たに又ま
むりつーすてまんちーかつらら紀たと木人しに如すも次ひろさ二倉は
ろうこまろ人らいよ毛風るよ起さし上音楫出し衣てへらん書はよくされ
油湯よ恭合と寸らくしにの二人て小たん宇氏の墨二付て人て平ハ中
らとらんツト人中しあろたんいつすと寺つーつくて河吹るよまそて

一 上音楫出し衣たにこまをとゆく奴のらすのよ遊客行しれ遊ハ下婦とね
うこすしれさらゆ付る右當山遊代のくむこり之れ二押さらし小揽常
此とくろことゆるてまつらりめ又上方に浅ふさろへまきろにさ一方にハゝく
と云叢ツ寺下ニ右ハ斗すえ云におれ一とをいしれちやしハのゐ色をとみよ
引浮子よくこく去ろさとしやくとしもとろく人ハ子ろしに同明ノ役す
者つしゃし文会てとしもよ日甲屋衣一人浮く毎歳れるもよ役作小部
屋衣上代家ゟ一浮出し申まきしにハ之しちくハ細にれ浮客の鳴け
ここ人ハ下色当中の勝れはしま女人合らくくて段毎りしさてつすれて女中
伝出あつまり旅ゟハら座をしてし 又女中人れをやしハ二夭につ
之一ハ女色の了門にと去まゆうさ浮子さうかろやしか紀め人をまさ二ハ
梅漢ゟ了門もこころさ濁子さかろしきしやくとして又何ゟし
女中し時保藤名字女人しれやくや浅と女中ちつく乃同名服あなさ盛質我
おこさ時保藤中兵衛毎日つけも若つし女中此とらす成りやくなまそそ若つし
了時又女人らんてとおつしゃし

一 正月廿七日上方楫御音摺にまくこゝしへの時にそてとろし言て發
中へ本家間出す大口ひくそとふれ浮の此まき代さハ乃さつさとすれ
気之人ハあゐうろく成せよ中人付たさ公れあろくゞ本家よ御つきまし
出しハ在伊勢屋 時伊中屋 保ゆ同仮寺 我おる時浮衣衆客 伊勢屋さゝ浅客
こ衣出ゆ学さ乃さつら女中此ちらえ成さるわを具 禄を めしくらう人会

一 むね[illegible]のおもてのし[illegible]源[illegible]七の日出小袖乃色又[illegible]
ありし

一 内裏御間にて[illegible]我ハ牛少たくへ[illegible]中[illegible]
雅康と仕て[illegible]御事[illegible]日[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]事[illegible]
[illegible]二階堂[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 常[illegible]大[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]時[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 文明三年御相伴衆以下之事
細川九郎殿 政元
一色左京大夫殿 義春
赤松兵部少輔殿 政則
畠山左衛門督殿 義統

一 管領 畠山右京大夫殿 政長
山名大膳大夫殿 政豊
細川兵部少輔殿
治部大輔殿
右四人

京極殿　政経
御供衆
一番
細川右馬頭殿　政国
畠山次郎殿
武田彦太郎殿　国信
伊勢七郎殿　貞陸

二番
細川兵部大輔殿
細川民部少輔殿　政春
畠山中務少輔殿
赤松刑部大輔殿
大館刑部大輔殿
上野民部大輔殿

大内殿　政弘
山宮内少輔殿
大館刑部大輔殿　政信
赤松孫次郎殿　元範
細川淡路守殿　成春
畠山次郎殿
赤松次郎殿
伊勢守殿　貞宗入道
畠山刑部少輔殿
伊勢左京亮殿　貞誠

伊勢下総守　貞頼
走衆
下郡作阿弥殿
竹森左京亮殿
遠山彦三郎殿
長下総守殿
角田弾正忠殿

一 管領　畠山尾張守殿
侍所　赤松兵部少輔殿　政則
政所　伊勢守殿

伊勢備後守　貞遠
飯尾中務少輔殿
小串下総守殿
斎藤彦右衛門尉殿
摂津刑部少輔殿

所司代　浦上美作守　則宗
侍所開闔　松田豊前守　[illegible]
政所代　蜷川新右衛門尉　親元

一 東山殿御供衆
大館刑部大輔殿
伊勢守殿
御部屋衆
細川治部少輔殿 政元
大館刑部大輔殿
伊勢因幡守殿
伊勢上総介殿
申次
海老名備中守殿
当番衆
同朋

政所開闔布施 英基
伊勢因幡守殿 貞成
畠山中務少輔殿 政近
一 兵部少輔殿
伊勢左京亮殿 貞遠
細川中務少輔殿
同朋衆

一 京御所様 常徳院殿
御供衆
大館治部少輔殿
伊勢次郎左衛門尉
伊勢七郎左衛門尉
申次
大館治部少輔殿 御供衆
伊勢次郎左衛門尉 其外
伊勢七郎左衛門尉
御部屋衆
伊勢肥前守殿
上野民部大輔殿
遠山孫太郎
河内民部大輔殿
本郷左京亮
小坂殿
伊勢殿
細川殿
一 公方様
御供衆

御使衆

大和佐守殿
松田備前守殿
松田八郎左衛門尉殿
飯尾筑前守殿
以上

上秋中務少輔殿
安東薩摩守殿
三上兵庫助殿

一 三方様御返事
越中
勢州内々より右筆
伊勢守方右筆 父也
手相守仍

手阿

紀次の御せんせい人

唐物之事
桐阿
善阿 とりつぎ

吉阿へ 通阿 吉阿 友阿 性阿 徳阿 蔵阿

御茶湯の事ハ 御同朋衆 常松

御使衆へ

一 伊勢備中守
右山殿御くろ御返ハ右筆
伊勢又七殿
伊勢備後守殿

御はつうさす
伊勢又七
とりつぎ
まいる
妙音院殿

一 御蔵奉行方
御奉行所右筆

伊勢周防守殿
ちくハ御書ハ以右筆
小林
安門少輔殿

大館兵部

一 禁裏さまへ御進上の目録ハ[illegible]

一 まいらせ候[illegible]

一 三宝院より諸家へ[illegible]

[illegible]

聖護院　青蓮院　実相院　大覚寺殿[illegible]

[illegible]　細川殿　畠山殿[illegible]山名殿　一色殿[illegible]

[illegible]京極殿　赤松殿[illegible]

[illegible]

一 [illegible]御礼[illegible]

一 [illegible]七月[illegible]八月朔日[illegible]

又八月[illegible]御礼[illegible]今ハ朔日[illegible]

[illegible]事[illegible]

一 十月の[illegible]

[illegible]大名[illegible]

[illegible]観世大夫[illegible]

[illegible]観世大夫[illegible]

大名[illegible]事[illegible]

[illegible]事

一　三蔵の御門のむまれさせたまふときハ、仏法蔵の時御門ありて経々の
御礼ありとまうし入ハ、此の御時むすこの名をおもはれまいらせたまへ申し
一　玄奘三蔵と申し、三蔵の御門にて、かみ馬あまたく乱申す[illegible]
一　弘法大師の出られし時、[illegible]の御経たまはりて[illegible]
大師の御お従三位大納言中納言[illegible]
らかし御門の仁王経をよみ[illegible]
の事をかくしたまへし[illegible]
一　三蔵ハ此礼にて時礼の経をもて[illegible]
十月に五たる御相伝の御位をもらまし
一　帝王の御舞楽の[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
一　伊勢ハ[illegible]社参申候[illegible]

おんたとゑとせい山将せんハ宮寺と申
故人の申おかれる事
一　人の年と申ハ人の世、志えをしれ申候[illegible]
[illegible]
[illegible]陰陽[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]

たとへば人の利をもまもらずといへども世をまもる心は仏の心にて
賢人と君子といふ人は事の外の世をおさむるにも大事に佛神
をもんずるゆゑに国をおさめ民をやすんずるも我身をすてゝ欲心なかりけり
にとりて政道と云事をおこなふ私をすてゝ人を世のために使ひて
たとへ三皇の代にも極悪の人は出来候故其人は世のためにまかせて
誅伐せられし也此故にいくさも用ゐる也世には五百年に一度乱ると云ふ

一 文学はなくてもすむ事なり君子の道にはならずして人のおさめ事の
まなびなりとて経は何となく人の口に伝へてありしより
まことの人とへば学問はよきものなれども文字の学はなき物也
ゆへに孔子も経をしるし文字をは後の代になりたる事をいましめて
学問するとも事はをさむるなり大学の道はたゞ心をおさむると云事なり
まことの道をこころえなば世をおさむる道も自然に知れ候
さればとてもまなびてよき事なり

国の事はよろしく仏と神の御事を第一にして国の治まるやうにする事なり
たとへ其事をなさずとも神の御加護にて人をまもり給ふ事
と云事はよく心得て治まる道を知るべし
かへりて人の代には法を用ゐて此世をおさむる事も人の心にあり
国の事にくはしき人は毒にあたらぬ様に心得べし
聞書にこゝろうべき法はいかにも此事に少人は多人の禄を費す

一 武将の政道の事
武将も昔よりよき事にて位をうけし人は
武将家にて武士の第一とは私欲なき事
乱世には院宣の御法にて武を以て乱をしづむる
なりしかば国々の明王として此世の法を用ゐて
すなはち一揆をおこし其事をおさむる
て続く事をなすも唐国の乱れたる例もあり
さて此国を治め帝の代にかはる事はあるまじ
たとへばその一揆の私にて乱れたるは
今はそのうへにての事をなすべきの事也

いつも事之盟と申事也たゝ合戦の時の[illegible]をもて何[illegible]
乃時ハ一揆し[illegible]事も[illegible]
なる事なる[illegible]

一 人公[illegible]なる[illegible]ゝ[illegible]井[illegible]
[illegible]大勝と云る一[illegible]の星を[illegible]行
戦[illegible]二字を[illegible]
と申[illegible]
とこそ[illegible]

一 人[illegible]事[illegible]昔[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]十九[illegible]指[illegible]

とこ[illegible]用[illegible]天下[illegible]
[illegible]云を[illegible]用之[illegible]

一 唐[illegible]継書と云事[illegible]
唐国[illegible]
[illegible]
[illegible]草木[illegible]
[illegible]言
[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]二人[illegible]世[illegible]
継母[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 武ほこりける女の男にまさる事多くありし其中にもさのみ人におとらぬ[illegible]
またかくありし尼子は北条時政かむすめにて二位と申し源頼朝の室なり
[illegible]よりまた女は[illegible]成へし板額は越後国城氏の
とて女なれとも国を[illegible]天野遠景[illegible]女なれとも[illegible]
巴と申すは[illegible]中原兼遠か国[illegible]母[illegible]討死[illegible]美濃国[illegible]
女なれは[illegible]ひしてかたきの首を[illegible]とりて[illegible]
女武者[illegible]も[illegible]たり[illegible]
[illegible]定ま[illegible]所[illegible]統[illegible]明[illegible]七ヶ条の[illegible]
[illegible]女[illegible]
鎌倉[illegible]北条[illegible]
尼将軍[illegible]
[illegible]宮[illegible]成[illegible]
和字[illegible]
[illegible]とて[illegible]

又将軍[illegible]執権[illegible]鎌倉[illegible]
[illegible]将軍の宣旨[illegible]女[illegible]将軍[illegible]
[illegible]将軍御代貞永元年五十一ヶ条の式目を定られ[illegible]
[illegible]武家の力にて[illegible]男女[illegible]心[illegible]
[illegible]道理[illegible]人[illegible]
一 雑談集中に[illegible]の威勢[illegible]一[illegible]
[illegible]降伏する事[illegible]人[illegible]
[illegible]利[illegible]
[illegible]又[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]女人[illegible]威勢[illegible]
[illegible]威勢[illegible]道[illegible]
[illegible]成就[illegible]道は[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible] 武士一命 [illegible]

[illegible] 和尚 [illegible]

[illegible] 二ツの字 [illegible]

[illegible]

虎ありて人をくらふ故ニ其人ニ長徳と云る者[illegible]と云[illegible]
こたふ[illegible]二十八[illegible]年[illegible]と答[illegible]
[illegible]人と虎ヲ[illegible]長徳[illegible]
[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]
一
武[illegible]人[illegible]の事[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
一
人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一
[illegible]
[illegible]

一 なりと論語學而篇にあるを見へ侍り
加様に云事は孔子の語、内典には五戒の仁は自ゆるすまし他を
めくむ心なきを仁と云、殺生を助くるも物を生する心をほしいまゝに
するか是仁の人と言ふ仁と云、義と人とゆくてかろくともらんてしりとて
天下國家も地より出きて是を義とおもふかよはすいつしておさむる
くろうを守て礼儀を見ツ義と云、礼は隔へ右のふたとしらへあや
尊し智は見に出て云は恵をかくと弱なんことたにしく
見るなきに是の信なり物て礼と云文書に有りくわしく
書して此まね様なる苦節にも申し候ふ事計候なる事も
大きなる事にも花の枝なる所をとし、かくと之を信は心に
たゝしくて古より道の行はるゝ事を
て世外のものゝ勤にて義の是を信と侍り

第之同書之下

衣将元之事

一 人の衣裳の元は趣と申ても年の始より
くは世中の人々には御きせ人のやしなひて
年も今は人のいましもちとなりし事をも内元なとし
引返ておもふを見てゆへに是元は志する事とて
並に御道は年も今も袖は後人の年に世人の
は弁まも世にも趣と歌文の小袖は刀の入道の
けにいとしもなりたき道を村も行
一 事なるへし大きなる人のよりくるて
元将元のりの時にて三月わしお近にしも小袖の月朔よりの
お若くもる元おもし世にしかの袖を世へし色は何とても
是は居中の事にて私そは袖を世ても候
ことゝ世てるはもつとけはとし文日本の御位本之位

作る料て有と也 されども [illegible] 絹を染 [illegible] 着
[illegible] 袖口 [illegible] 五月廿日まで [illegible] 男女ともに [illegible] 女
十六ハ五月 [illegible] 袷 [illegible] 下腹帯 [illegible]
六月朔日より七月中 [illegible] 八月朔日より又袷 [illegible]
一 [illegible] 染付の小袖を着用 男女ともに [illegible] 八月朔日より [illegible]
着る [illegible] 今九月朔日より [illegible] 小袖を着 [illegible] 十月朔日
ニハ男女ともに [illegible] 小袖を着る [illegible] 但京中
大名 [illegible] 又 [illegible] 女中 [illegible] 九月
初 [illegible] の時まで [illegible] 男 [illegible] 着
一 [illegible] 小袖紋付 [illegible]
[illegible] 俗人ハ [illegible] 又 [illegible]
又 [illegible] 八月明 [illegible] 小袖 [illegible]
[illegible] 俗人ハ烏帽子 [illegible] の時 [illegible] 世俗 [illegible] 小袖 [illegible] 衣斗

[illegible] 武家ハ仁 [illegible] 時
白小袖 [illegible] 絹 [illegible] 衣服 [illegible]
[illegible] 下服 [illegible] 一服の [illegible]
[illegible] 料紙 [illegible]
[illegible] 小袖 [illegible] 服 [illegible]
一 [illegible] 服 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible] 二服 [illegible]
[illegible] 着 [illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

しまたに人のりて小袖かはし

一 志ゆるハ下人へとらせ候てもくるしからず人ハ壱歩さまにて着候

一 ゆかたの事は小袖のやうに今ハさまにて梅染の小袖ハ今ハ無

くなり申候へとも此小袖ハ女房衆より着候へハ練の袷を着かへ候

一 御あつかりの事ハ三月より日より着て候女房衆のしよくはつもし

一 御寺ハ成たてハ大かたハ常の事く上臈ハ中臈ハ年寄

一 小袖の事ハ紋をつけ候事もし一段の事と存候代ハ今ハまれなし

一 三月十日より寺ハ上臈と一文して小上臈下ハ御さい

一 御うつくしき常にもうたかひ 薄紅梅 代よりハ着候ハす人にもまいらせ候

一 三月ニ日さる事見え若衆さへ花を御とめさせ候てもよく候 大将さま

一 常ハ紅白とさへ乍ら人々さま常のことくさまにて練のそれさしくハ御年寄

一 三月も明人なとハ年寄衆も御候て人々ハ御記之まもりにて候事候

一 くハしく御ゆるしもとく女房見えて練着て花ハ衣ハさせ候

はやくみへて上﨟見え紅めに御衣のさしにこそ着

ことにいつも日もこの女房にハ衣ハ練を付け

御所方より老中より御ゆるしありて御袷に十ヶ所梅染

練り着しおりて御かひへ御白の小袖ハ御練のきのことを着て小袖

のきたりこちふれるを男衆よりの事ハ御給候て後の付は梅染

御かへりよりハ白き小袖をそめて候へハ練花をさまさ時節

おほえめしたりへんな女房衆に御いひかれくもかしこにやのきんとさしめ

ハともにもかくもハ此人々にいらせてなとかれ候へハ

一 たれかよくしてかちらかなるへくしてさし

一 されの時分にはまいる時分にのそみくすへき大かたさもにほんとさこそ下し

二三日すきなりしてよそにさまりとのけにておさまり候て御曽ニ御みを候て御練

三なり候へハ二三日おもかこさいかいこ練よくまくんなし御 ひらきと八日

冬のさまなりしうち年ことにさけ御そ御あらへかまへくくさ御

の時分より着るやうに成ても御それ御にて候しへ又大笠の御

の時ハ着かしよかりすまゐする御事のすくハ又宝慣子にて

さハく御もたけいまさし着るく年にさる御文にとめて御候

とく

一 ひくて源平二流にて [illegible]
[illegible] めさ [illegible] 役 [illegible]
[illegible] 文 [illegible] 判官の [illegible] 人は地 [illegible]
[illegible] 官 [illegible] 常 [illegible]
[illegible]
[illegible] 緋の [illegible]
[illegible]
[illegible] 常 [illegible]
[illegible] 神の [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 時 [illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 文 [illegible] の時 [illegible]
[illegible] 白く [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 文 [illegible]

一 父の跡をつかに嘉くミにゝしか[illegible]
家の役をゆつこさ付ニ[illegible]常孔[illegible]足用[illegible]
[illegible]大刀ニて[illegible]入[illegible]時大刀打かへ[illegible]
[illegible]常[illegible]若中間の[illegible]
時[illegible]文大[illegible]時[illegible]人[illegible]
[illegible]文大[illegible]時[illegible]
[illegible]人[illegible]人の[illegible]奥[illegible]
[illegible]事[illegible]
一 [illegible]役の事[illegible]
[illegible]人[illegible]若[illegible]人の[illegible]
[illegible]人[illegible]
一 [illegible]上下[illegible]男[illegible]
[illegible]時[illegible]の時

[illegible]文[illegible]勘を
[illegible]の時[illegible]の者[illegible]一日[illegible]文一日[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]文[illegible]
[illegible]正月七月[illegible]八月[illegible]
[illegible]時[illegible]事[illegible]
[illegible]の[illegible]文の[illegible]事[illegible]
[illegible]時[illegible]時[illegible]
小袖[illegible]事[illegible]大刀の時[illegible]
[illegible]
[illegible]代[illegible]
[illegible]時[illegible]役[illegible]
一 [illegible]

一 すかしものハの事うろ橋事ニも付る紀伊国ニて候 [illegible]

橋見しむらされもみすあそハ紀伊国にて候を耳あつひてかす㐂

世にもよいハみ浪かめいで紀伊地の紙に [illegible] 付しもりまへてもみ

いもハひきんそ首よう定事ニしを事ハひろくしかそ給み

くくそもにすらしとかし後之たいかなめてしつかくいしそ付 [illegible]

一 土佐の筆いすへてうろ [illegible] て又ろうつ [illegible]

をつうまきの人なて矢返猶く五みを時ニ [illegible] の上に土佐の本章

鷹帽子とあすもらもうて土佐のめそうそ [illegible]

土佐ハひきんせいのうちすり

太刀打刀たにり中の事

一 金物ハひきん [illegible] 金物とて [illegible]

[illegible] 世えてうそ [illegible] 小刀つハ金

[illegible] 金物 [illegible] つけて金具 [illegible]

一 [illegible] 金物 [illegible] 紐 [illegible] 中あ [illegible]

[illegible] 者 [illegible] 文 [illegible]

[illegible] 年 [illegible] 半 [illegible] 金

年寄 [illegible] 人 [illegible] 指の [illegible]

二 [illegible] 金 [illegible]

[illegible] 中 [illegible] 二

[illegible] 据 [illegible] 金 [illegible]

[illegible] 金 [illegible]

[illegible] 一寸 [illegible] 師 [illegible]

[illegible] 青 [illegible] 曽土 [illegible] 時 [illegible] 全 [illegible]

[illegible] 平 [illegible] 八寸 [illegible]

[illegible] 亦 [illegible] 江 [illegible]

[illegible]

兎の[illegible]かとかせを[illegible]紅の人さけと[illegible]なるし
[illegible]比ゆりけちの力にこまての付[illegible]つかのとくに人の[illegible]
のとんあ[illegible]小首なされてい[illegible]す

一 [illegible]首振り打力[illegible]家来[illegible]れば[illegible]
人[illegible]付[illegible]の[illegible]桐[illegible]けさけと[illegible]
[illegible]の[illegible]金[illegible]

一 日[illegible]銅[illegible]銭入[illegible]の[illegible]
[illegible]手[illegible]付[illegible]金[illegible]
見[illegible]弟[illegible]の所是間人[illegible]
て[illegible]家来の時[illegible]金作[illegible]
[illegible]地ていつ[illegible]
[illegible]様[illegible]時[illegible]
[illegible]の事[illegible]金[illegible]作[illegible]

本[illegible]金作[illegible]縄[illegible]大せ
[illegible]の[illegible]
金[illegible]仁[illegible]
[illegible]

一 [illegible]打カ[illegible]
一 [illegible]事[illegible]御[illegible]事[illegible]時[illegible]
一 [illegible]人[illegible]付[illegible]
[illegible]
[illegible]申之[illegible]
人の[illegible]

二 主人の[illegible]新[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]の時[illegible]
[illegible]

しもをかくる御事もあるまじく候へども、御供の時はあいかまへて
其衣裳のいろいろとみて見せてかよふ人の心よしと
つけたるは状の礼をかたり申さるゝ者なれば其人のいはれ
知らるへし
一 武士の法には弓馬の事は申すにおよばず、いかにも縁の
出来たる人の手をも生涯の仕退去の時も敵の首を取るかたにて法を彼
専らは其人の心よき時は身の忠にも出仕にも今はその御法度
一 古人よりも云伝へられたる、ならでは身のかけりに[illegible]
士文章を以てする事をも見るべし。文才ある人は[illegible]
其人には弥よく出来候。さる人の心にもかなひ[illegible]
武士を嗜むべき事なり。文ある人は軍学もよくよく知る人の[illegible]
又武道をもよくよく嗜み、その上に市中の人の心をもよく知る人は
弱きをも[illegible]ときは、他にも後代の時は[illegible]

行てやあるへし
一 立まちにゆく人は弱き時も義をかねて[illegible]
[illegible]出る時は文ある人は少しも[illegible]人を[illegible]
こゝろ[illegible]事に文武の二道をもて[illegible]文ある人は
君にも宮事をもよく知るべし[illegible]
あやまちをも[illegible]諸事を嗜む人は[illegible]
身のほどをよくよく知る人[illegible]
一 別して心得べきは[illegible]
文事也。文武を中心に[illegible]
人は物の作法[illegible]
する事も[illegible]
一 武士の[illegible]
文武は無道の剛者にて仁義勇者[illegible]

一　無智勇力の勇者をとらへて将軍の料振の人となすは其心をしらずして是を悪と云へし
一　帝武皇七ヶ年ころ天下の人に先をさせし是より天下悪と云々一
見そよ定孔子の御すゝむ学科とそ伝り高祖の功臣八人之傑の為に
あれるか此良二て是に庵迦樂して撰信する人ニ是をもちの忠を尽して
ほとりとそ各其人ニに馬をかりて道して心のままある人は和漢の
文義をとけ人々のうちにしてほろひけるニハ二胡撰要よるて歌ひよみ
けん人二に意を述して人のうち伝ふるもたきみちし人ニに神霊に伝る
しそし肝要の人は宮祖言緒浩とする人よりうつるとを前日に其沙汰
一　勢ひ火の身のそとよりてそ至ぶよりつまる所の天下の是に知をまされ
みるとに其々称より撰要のよりとられりまるにさしや也
上下の儀をとめて有りとそうつしからまにとてさそそするたくは是とちれ
一　往古の聖人ハ文物の事に事に賢人を下を天下としてい其実数を下として賢にすつる
此人は賤の役を成をもつ人と貴賤を文物をに事を乗せ母なる

すまし連て其ささえてしかるは只きさ其ちはすれは雅楽の事をさとしてをくらし也
二とるに者されなとる下なるものにて五をもつ
此の子に凡十の間其の是に二たる法の事ふまていつ地を方極から厳宮是より
言とて其の室の事に也此其厳をそ宮撰厳と下に救しまとくなる家之の式
かり是は対流を撰つりてある其をすれて山の厳その役の時ハ定む
大その間より丈ある人之文帝に死人をえはえて此そよりと生時とも
のとそと其ては下は少の先そに其より出て宮あるとそも下とりそとくなる
一　大臣其の内の此の其之大きに其まの御史をさけ流るます
三省振そて撰厳の時宮上人のうちてそ其に伝ゆる家は其とやつて此時
献をの当の其の目を法の御流の文の時の四段のとされ中の今の其
其とと天乃之記也帯とも今借を洗事作しとも其の敬とえ之の後を美化とあるか
洞し撰厳の時の中の人のあやまるもめ其法の後の人とてすこてかことえ
也忠愛とてりしのふるさ宗ミかの人訴ありて候るといまし

一 浮虚安〻 何れの法を用ひすとも 他者には 老安〻〻 [illegible]

当りの力〻 安〻 右(?)の時〻 云ずれ(?)と 弓言の手 当(?)[illegible] 同

乃ありさ紀世右 [illegible] の [illegible]

云紀(?)将の法 [illegible] 時の時 [illegible]

一 弓よ(?)[illegible] 時の手す [illegible]

一 成(?)[illegible] 方(?)[illegible] 役人を [illegible]

まそ八三つ [illegible] の役人毎合する [illegible] 打ちの云方三つ [illegible] 右八

そうて [illegible] 時 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] の事 [illegible] 大方と [illegible]

一 車 [illegible] 時車 [illegible] 時 [illegible]

一 [illegible] 弊 [illegible]

一 [illegible] の時 [illegible] 下 [illegible]

一 [illegible] 右 [illegible]

[illegible] 右 [illegible] 上の方と [illegible]

[illegible]

[illegible] 持 [illegible]

[illegible] 人 [illegible]

一 [illegible] 人 [illegible]

[illegible] 太の [illegible] 方 [illegible]

[illegible]

[illegible] 右の [illegible]

[illegible] 持 [illegible]

[illegible]

[illegible] 時の [illegible]

一 [illegible]此役[illegible]

[illegible]

一 [illegible]春[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]時[illegible]天の[illegible]

一 [illegible]此時[illegible]年正月[illegible]時[illegible]

一 [illegible]大夫[illegible]

[illegible]大夫[illegible]

[illegible]

[illegible]十五[illegible]

[illegible]

一 人の[illegible]の時[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 主人の[illegible]時の[illegible]

毎々…侍る…[illegible]…着…[illegible]

一 毎人の作法の役は[illegible]

一 包丁作法[illegible]

又扨[illegible]

[illegible]

英石[illegible]

流て[illegible]

一 又刀[illegible]

一 色人[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 燭[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

右既に有り故ニ常ニ右の方ニしてきせるニ持て其ニ[illegible]
然ハ太刀ハ[illegible]を[illegible]の[illegible]よりゆへ[illegible]
[illegible]手付ハ毎の[illegible]もの[illegible]て養老ニ[illegible]て後[illegible]
下持ち[illegible]下太刀と上ニ[illegible]の[illegible]上ニ[illegible]て後[illegible]
[illegible]右の[illegible]太刀を[illegible]太刀[illegible]足[illegible]
[illegible]後人[illegible]のけ[illegible]役の[illegible]
[illegible]けて大[illegible]太刀[illegible]て後[illegible]

一 敵人ニ太刀[illegible]の下太刀[illegible]
太刀[illegible]下[illegible]太刀持[illegible]右の[illegible]太刀ハ常ニ[illegible]
[illegible]持[illegible]右[illegible]
[illegible]持[illegible]のけ[illegible]右の[illegible]

一 [illegible]ニ[illegible]人ニ[illegible]
一 [illegible]の[illegible]太刀[illegible]て[illegible]

一 [illegible]そ[illegible]けて[illegible]持[illegible]
[illegible]文蔵[illegible]進上の[illegible]
[illegible]月の[illegible]射[illegible]の[illegible]
[illegible]射[illegible]て[illegible]白[illegible]八月朔[illegible]
[illegible]文二月朔[illegible]
[illegible]時[illegible]文桐[illegible]
[illegible]射[illegible]時[illegible]文[illegible]
[illegible]下向[illegible]の[illegible]

一 [illegible]の人[illegible]
[illegible]射[illegible]の[illegible]中[illegible]の[illegible]
[illegible]射[illegible]文[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]人[illegible]射[illegible]

一 貴賤の人にハ老若によらす古き事をよく知たる人に尋候へハ[illegible]
人のうへをきゝ候て思案する事肝要にて候
無代(?)とい(ふ)事も心得候て申事ハ常に人すく
る事[illegible]人ことに[illegible]宿にて[illegible]人をも見
[illegible]大方[illegible]つかハれ[illegible]常に
[illegible]大方[illegible]申され
一 [illegible]ハ[illegible]人[illegible]一人[illegible]事
ある[illegible]人の[illegible]定[illegible]ある[illegible]
人[illegible]指[illegible]事[illegible]
[illegible]人[illegible]人の[illegible]

右之
老耄ことに文盲事なるうへさらく人の存分にて書付申候
穴賢[illegible]

大永八年子月日
下総入道
宗五判
次郎五

右此[illegible]以下[illegible]事[illegible]文字[illegible]
[illegible]写[illegible]
大永七年三月日